

錦窠翁
九十賀壽
博物會誌

下

特 7
338

錦窠翁



国立国会図書館 請求記号 特7-338
タイトル 『錦[カ]翁九十賀壽博物會誌』

ガラス使用

特7-338

錦窠翁九十賀壽博物會誌下卷出品目録之部

伊藤篤太郎編輯

岩屋朝央

三十一種

○植物類折枝

- ハマヒサカキ山茶科
- フユザンシヤウ芸香科
- マサキ細葉品 衛矛科
- ハナノキ無患樹科
- ヌカガラアソビキ 清風藤科
- ウラシロノキ薔薇科
- ズイナ虎耳草科
- フウ金縷梅科
- ハリギリ五加科
- ツクバ子ウツギ忍冬科
- ヒメシヤラ山茶科
- マサキ圓葉品 衛矛科
- モクレイシ 衛矛科
- タウカヘデ無患樹科
- ヒラギガシリンボク 薔薇科
- オホノリノキノ大ナル者 虎耳草科
- アナモミ金縷梅科
- ミソブタカクレミノ 五加科
- ヘミノキ忍冬科
- ヤウラクツ、シ石南科



リヤウブ石南科
 センリヤウ金粟蘭科
 ツクハ子檀香科
 ナリメンイマメガシ殼斗科
 シバグルミ殼斗科
 マキ細葉品 松柏科
 右三十一品
 カモアフヒ盆栽 馬兜鈴科
 右一品
 怪獸ノ蹄接ニ羊蹄
 海馬牙
 白鴛鴦劍羽
 燕尾

ヒトツバダゴ木犀科
 カウチニクケイ樟科
 イヌイチジク蓼麻科
 オホガシ殼斗科
 イヌブナ殼斗科

岩本治永

伊藤圭介

一箱
 二枚
 一個
 一個
 一個

○「蛇足」
 ○ノコギリサメ嘴
 ○海馬相州産
 ○介品
 ○介品
 ○タコフ子
 ○石蛤類
 ○イハラ蟹
 ○アサヒガニ
 ○海盤車
 ○品字蓮
 ○異果
 ○實類
 ○實類
 ○實類

七個
 一組
 一組
 一組
 一組
 一組
 一組
 一組
 一組
 一組
 一組
 一組
 一組
 一組
 一組
 一組
 一組
 一組
 一組

- 和産並古渡漢藥類 十重一組
 - 冬蟲夏草 江州産 一品
 - 遠賀 江州産 冬蟲夏草ノ小ナル者 一品
 - 礦物類 五重一組
 - 砂類 三重一組
 - 細砂石品 七重一組
 - 細砂類 二重一組
 - 草石並石間貝 周防阿古山産 一塊
 - 蓮葉化石ト云ヒ傳フル品 一塊
 - 玉髓 産地未詳 一塊
 - 石花 備中國岩中村産 一塊
 - 礬石、土殷孽、禹餘糧 七重一組
 - 清舶齋産物諸品雜集 一卷
 - 横井也有翁書翰 一幅
- 「暮水口上、先日ハ御尋忝存候、其節御約束ノ本草正僞、頃日、君山先生御持

四

參有之致備候ニ付一覽之望事濟申候、此段爲御知申度附幸便申候、不及御報候 十五日認「暮水」也、有翁ノ号、松平君山ハ本草正僞ノ著者。

- 九十四待十君千世二字墨竹並和歌鈴木楓園代筆 一幅
- 中村正直翁撰松陰先生詩碑基表墨本 一幅
- 玉香報春卷 一軸

右三十六點

伊藤延吉

○平安福手財輯佛刹古瓦揚圖 一幅

服部南郭翁の古瓦の和文を觀し事ありて。碩儒の和文も珍らしく覺へ。曾て洋々社談に。余掲げ置たるを。今想ひ起して。此古瓦揚圖の傍に漫記す。曰檜垣寺の古瓦の記。ひかきの女の歌。其事をあはせて後撰集大和物語にあらはれたれば。人みなざる所なり。今は其跡。寺どなんなりてあるといひ傳ふめり。肥後の曇龍上人ふるさとより。ふたゝひ東に向はんとて。ふるきを思ふかたくなふる翁かくせを。思ひはかりて。かの寺の瓦をもて傳へてあたへ玉へり。朝夕携へこゝろむるに。硯になんせんとして。其

五

道のたくみにことつけて。さはれ。ひくとはなしに琴をたまさくりて。過せしためしもあらめやは。さるをことからのいみしうむかしおもへは。もてあそふはかりも心ひとつにおかしきわさなりや。おのれめてたしと見るのみかは。上人のはるくふりはへ携へ玉へりし。心つくしの海ふかき情も。すてかたきまゝに。ならばぬ女もしゝて。かきつくれば。にけなくこそをこかましけれ。かつはかの白川のみつからおもへは。老にける身の。今はた硯の墨の黒髪に。立かへるへきすかもあらずかし。硯なうても世をもてかすふる物こそあれ。はかなき命毛の氣のすさみはなかきもよしなしとて。かきさしてやみぬ。

紀元二千五百五十二年七月十三日 齡九十翁錦窠十二花樓上にて記す。

○豪猪圖説

豪猪印度産。形色使人驚。軋轆笈毛際。琮瑋戛玉聲。八十九翁錦窠老人題

豪猪 蒿猪 唐本 山猪 通志 獠猪 音原 獠猪 音丸 鬻猪 時珍曰。說文云。豪猪 射人故也。郭璞曰。吳楚呼鬻猪。

頌曰。豪猪陝洛江東諸山中並有之。鬻間有豪如箭。能射人。時珍

二幅

曰。豪猪處々深山中有之。多者成群。害稼狀如猪。而項脊有棘鬣。長近尺許。粗如筋。其狀如筭及蝟刺。白本而黑端。怒則激去。如矢射人。羗人以其皮爲鞞。郭璞云。獠猪自爲牝牡而孕也。張師正倦遊錄云。南海片泡魚大如牙。身有棘刺。能化爲豪猪。異爲魚。坎爲豕。豈異變坎乎。

毛の色栗色にて、黒みかち、ごま毛交り、尤も太く硬し。むね腹の下、白毛あり。口もと眼のかゝり鼠の如し。四脚の附きやう兎の如く、跡足少し長く、總体足至て短く、爪黒し。鼻先より尾さき迄、二尺にたらず、鬣の毛、羽のまんの如く、うつろに見へ太みの形、まな箸の如し。總体白く、斑の点あり、篋を着たるごとく、胴中より尻へかけ、鬣あり。聲は聞ど、ねる時はおどす様な息遣ひあり。鉄ひごの籠目より、小き竹にて脊をたゞげば、右の如く怒るていなり。尻尾の鬣は、すり切りたる(……)見へて三寸許あり、尾はのこらず鬣なり。今見る豪猪は子なり。

明治廿四年八月廿日八十九翁錦窠寫、敢て補訂を加へす。

按=豪猪、和名ヤマアラシ、古來時々渡來シ、觀場ニ供セシモノニシテ、安永元年、囑蘭舶來シ、天保三年六月ニモ舶齎セリ。此獸ハ歐洲南地、又亞弗

利加、印度等、産地一ナラズ。其体長サ二尺餘、之ヲ被フモノ鷺管ヲナシ、コ
 ノ管毛ハ伏シテ後ニ向フ。若シ怒リテ之ヲ直立セシムレバ、ソノ互ニ摩
 擦軌轢シテ、聲ガラシト音スル也、全体ハ頗フル兔ニ似タリ、頭ハ小ク、
 身肥ヘ、毛ハ皆粗刺ニシテ、脊毛ハ長サ七八寸ヨリ尺許ニ至ル、管様ニシ
 テ黑白斑アリ。全身ノ毛、處々長短アレバ、總テ管様ナリ。顎下ハ白シ。眼大
 サ三分、耳ヨリ喙迄、三寸五分、耳廓一寸五分、鬚長サ五寸許リ、ソノ端白シ、
 此毛ヲ以テ筆管、牙杖、簪トナス。此獸異常ノ形ナルヲ以テ、異稱頗ル多シ。
 刺猪 貴州通志、豪猪 山海經、豪彘 南寧府志、帶獠 典語便覽、貂猪 學海群玉粹、
 封豕 廣東新語、箭猪 全上、山海經ニ竹山有獸。其形如豚。白毛大如筭而黑
 端。名曰豪彘。說文ニ豕鬣如筆管者。出南郡ト謂フモノ皆是也。 明治廿
 四年八月廿七日 伊藤圭介又識
 右二品

伊藤篤太郎

- 鹿頭骨 雌雄 二 個
- 雷鳥雛 火酒 浸 漢名松鷄 信州御嶽産 明治廿四年八月、 一 瓶

- ヤマドリ 剥製雌雄 二 個
- アチゲラ 剥製 一 個
- アカゲラ 剥製雌雄 二 個
- 十二紅 剥製 一 個
- 十二黄 全上 一 個
- サンカノゴ 剥製 一 個
- ナシドリ 剥製雌雄 二 個
- カイツムリ 剥製 一 個
- チゴザメ 剥製 一 個
- シゴモクザメ 剥製 一 個
- スキザメ 剥製 一 個
- 昆虫類標本 二百六十三種 五 箱
- 蛾 明治廿四年六月愛知縣尋常中學校構内ニ於テ余ノ捕獲スルモノ 一 品
- *Attaeus* sp. (affine *A. Cynhia*, Drury) 一 品
- 珊瑚模製標本 獨乙國ドレンスアム 一 品

○ミヅクラゲ模製標本 獨乙國ドレステン製 一品

○キムラタケ火酒浸 方言「オニク」ト稱シ、藥用ニ供ス。信州駒嶽産 一瓶

○Roschiakia gleabra, O. A. Meyer.
○ルリシヤクギヤウ 新名、田中節三郎君所命、沖繩縣八重山群島石垣島、大川村産
Burmamia sp. (affine B. candida, Griff.) 明治廿四年六月同氏檢出

○植物類盆栽 六品

ストロマンテ、サンギチア 薑科 ツ、アナ、ス 鳳梨科

オリヅルラン 百合科 アツバシユロラン 百合科

フナルミウム、テナックス 百合科 キリンノツメ

○植物類折枝 七種

デイコ梯姑樹 荳科 レイリウカウ 零陵香 荳科

オニナベナ 山蘿蔔科 起スニ用フ 羅紗ノモチ ビラウドモウス 井シラ参科

ツルヒヤクブ 百部科 ハナスゲ 百合科

イトラン 百合科

○日本産シホガマガキ 屬植物腊葉 五種

オホバシホガマ シロバナシホガマ 新名

ヨツバシホガマ シホガマガキ

コマシホガマ 新名

○ヤウランラン 花放大寫生圖並解説 一冊

○全上盆栽 一鉢

○三河産植物乾製標本 四十五種

○日本重要水産動物圖 農商務省編纂 四幅

○錦窠翁以蒨草根所寫書畫 二幅

蒨草。和名弘法筆草。又鬼石菖。産於江島鎌倉其他諸國海濱砂地。其穗如麥

實。而根爲筆可寫字。明治廿四年五月。家孫篤太郎。遊三州蒲郡。海濱潮浴之

際。採此草來。今亦用之。余戲書之云。 八十九齡錦窠老人

○水谷豐文先生寫生植物圖 二幅

右二十八點

○ハリセンボン 漢名魚虎 一個

伊藤保三

Diodon maculatus, Guenther.

右一品

石川猪太郎

一卷

右一品

石井榮三

一幅

右一品

服部直衡

一十個

右三品

服部泰禮

一鉢

右三品

○サタケウチ乾製

二尾

○神農鳳山公畫 松平掃部頭勝長。号鳳山。尾張大納言源明公之弟。

○五十カラノ窠三州八名郡吉祥山産

○ヤマモ三州丹羽郡産

○イシモチサウ三州八名郡近傍山間溪河産

○ムラサキガヒ

○イハラガヒ

○シウキガヒ

○長牡ナガカキ

○チカチカ乾製

一一一

○チカチカ乾製

○長牡ナガカキ

○シウキガヒ

○イハラガヒ

○ムラサキガヒ

○クマサカガヒ

○海綿

○植物盆栽

○洋種白花金雀花荳科

○オサバグサ濃州惠那産 罌粟科

○ナツユキサウ挿花 日光産

○蟹化石

○マテガヒ化石

○木化石

○藍精製染業須知五代友厚編輯 明治十年二月出版

三尾

一品

一品

一品

一品

一品

二品

四種

一品

一品

一品

一個

一個

一個

一冊

白花百日紅千屈菜科

キンバイサウ伊吹山産毛茛科

活版全一冊

一一一

藍類染物ノ一ヲ詳細論述シタル書ナリ。

○稻作改良説 筑前林遠里述

活版全一冊

稻作生育、肥料、培養、耕作等ヲ述ベタル小冊子ナリ。

右十五點

花岡富士三郎

四十種

○日本産鑛物類標本

一 硫黃 上野國吾妻郡千俣村
萬坐山産

一個

硫化鐵ノ空隙ニ、透明ナル硫黃ヲ包裹セルモノナリ。

一個

一 純蒼鉛鑛 豊後國大野郡長谷川村大字
尾平鑛山宇中小屋産

此標本ハ淡紅ナル螢石ノ晶体中ニ、此鑛ノ球狀、又ハ片狀ナルモノ數多

ク包有セルモノナリ。

一個

一 純銅鑛 陸中國鹿角郡尾去村
尾去澤鑛山産

等軸晶系ニ屬スル數種ノ結晶、湊合シテ成ル。自然銅ハ線狀、樹枝狀、板狀、

或ハ塊狀ノモノ多クシテ、此標品ノ如ク、結晶ノ著シキモノハ稀ナリト

ス。

一 純金鑛 但馬國出石郡奥山村
字向町産

一個

通常自然金ハ肉眼ニテ見ルヲ得ヘキモノ稀ナリ。然ルニ、此品ニハ、石英ノ結晶數多樹立シ、其際ニ苔草狀、及ビ板狀ノ生金附着セリ。

一 純銀鑛 石見國邇摩郡佐摩村銀山町
大森鑛山本谷坑五番鑛産

一個

樹枝狀ノ純銀鑛、其大部ヲ占メ、其際ニ數箇ノ小結晶アリ。純銀鑛ハ結晶セルモノ稀ナリ。

一 黃硫鐵鑛 信濃國小縣郡武石村大字
下武石字富澤産

八個

此品ハ黝色粘土中ニ散在シテ産出ス。五方十二面体ヲ呈シ、外面ハ常ニ酸化シテ褐黑色ヲナセリ。

一 黃硫鑛 出雲國神門郡鶴鷺村大字
鶴鷺浦字船岳銅山産

二個

黃銅鑛ト共ニ産シ、間結晶ノ大サ寸餘ニ至ルモノアリ。完全ナル正三角八面体ノ晶形ヲ呈ス。

一方鉛鑛 膽振國山城郡八雲村
遊樂府鑛山産

二個

立方体及ビ立方体ノ削稜形ヲナセルモノニシテ、能クソノ晶形ヲ判スベシ。

一方亞鉛鑛 羽後國北秋田郡阿仁銅山村

三個

黃銅鑛方鉛鑛ト共ニ産シ、黃褐色ニシテ、脂光稍、透明ナシ、等軸晶系ニ属スル數種ノ晶体ヲナス。

一黃硫銅鑛 越後國東蒲原郡鹿瀬村

一個

正方形ノ種々ナル晶体相集マリテ、表面ハ稍、酸化シテ黑色ヲ呈ス。

四個

一硫水鉛鑛 飛騨國大野郡白川村

一個

六角板形ノ結晶ヲナセドモ、完美ノモノニアラズ。未ダ之ヲ研究セザルニヨリ、何種ノ晶系ニ属スルヤハ、之ヲ窺知スルコト能ハズ。

一個

一硫安鑛 伊豫國新居郡大生院村

一個

滑雲剝岩ニ於テ鑛脈ヲナス。然レモ、結晶セルモノハ多カラザルガ如シ。此鑛ハ普ク世ニ知ラレタル優美ノ結晶ヲナス。

一個

一坭銀鑛 羽後國雄勝郡院内鑛山産

一個

性分ハ硫黃安及ヒ銀ナリ。斜方晶系ノ板狀ナル完美ノ結晶ヲ呈シ、結晶ノ外部ヲ蔽フコト、方解石ノ細結晶ヲ以テセリ。

一個

黝銅鑛ノ一種、多量ノ銀ヲ含有スルモノニシテ、黃銅鑛黃鐵鑛ト共ニ産出ス。

一磚銅鑛 越後國東蒲原郡鹿瀬村

一個

性分ハ酸化銅、及ヒ酸化鐵ニシテ、赤銅鑛ノ一種ナリ。此鑛ハ黃硫銅鑛ヨリ變生シテ成ル所ナリ。

一含水水晶 佐渡國雜太郡相川鑛山産

一個

晶体中ニ多ク水泡ヲ含有スルモノニシテ、試ミニ之ヲ廻轉スルトキハ、水泡モ亦之ニ伴フテ流動スルヲ見ル。

一鐵石英 陸中國鹿角郡花輪町産

一個

無數ノ完全ナル結晶白色ノ硅土ヲ中心トシテ、顆々湊合シテ榴子ヲナシ、榴子モ亦相集マリテ、葡萄狀ヲナス。

一玉髓 羽前國西置賜郡小國町ノ西半里

一個

此品ニ紅色、及ビ白色ノ二種アリ。方言菊面石ト呼ブ。杏仁狀ニシテ、恰モ化石ニ髣髴タリ。灰色硅質凝灰岩中ニ存在シ、岩石ノ分解ニヨリ結晶シテ成ル所ナリ。

一七

一六

一 綠玉髓 能登國鳳至郡
蟲水村産

林檎綠色ノ玉髓ニシテ、酸化、日計留ノ爲メニ綠色ヲナスモノナリ。
一 玉滴石 越中國上新川郡
立山村新湯温泉産

即チ玻璃蛋白石ナリ。新湯熱泉ノ週邊ニ硅土ノ沈積物アリ。其裂罅ニ産
シ極メテ小ナル砂粒ヲ中心トシ、蛋白質之レヲ包皮シテ成ル所ニシテ、
鑛泉ノ作用ニヨリテ生ズ。概チ無色透明ニシテ、玻璃光アリ。恰モ南京玉
ノ如シ。

一 犬牙石

磁硫鉄鑛ト方鉛鑛ノ混淆セル鑛ノ表面ニ附着ス。即チ方解石ノ一種ナ
リ。結晶不等邊三角十二面体ニシテ、小晶多數相集マリ、其狀稍犬牙ニ類
似セリ。

一 菱鉄鑛 石見國遷摩郡佐摩村銀山町
大森鑛山本谷坑六番鑛産

方鉛鑛ト菱鉄鑛ト混合セル鑛ノ空隙ニ、淡褐色ナル數多ノ小晶ヲナシ
テ存シ、且之ニ透明ナル重晶石ノ小晶ヲ伴フ。

一 炭鑛 越中國上新川郡白萩村
大字西種字後口谷産

菱鉄鑛ノ一種、炭素ヲ含ムモノニシテ黑色ナリ。石炭床中ヨリ産出ス。

一 菱滿俺鑛 北見國古平郡濱町
稻倉銅山産

銅鉛鑛ノ伴鑛石ヲナシ、ソノ空隙ニ微細ノ晶体ヲ見ルヲ得ベシト雖、
未ダ完全ナル標本ニ非ズ。

一 霰石 飛騨國吉城郡神岡鑛山
蛇腹平産

斜方晶系ノ結晶諸種アリテ、淡褐色ヲ呈ス。

一 孔雀石 羽後國仙北郡荒村
荒川鑛山産

孔雀石ハ瘤狀、塊狀等ノモノ多ク、結晶セルモノ稀ナリ。然ルニ此標品ハ
磚銅鑛面ニ針狀ノ晶体、無數ニ湊合セルモノナリ。

一 白雲石 羽後國山本郡藤琴村
太良鑛山産

石英中方亞鉛鑛黃銅鑛ノ混合セル鑛面ニ、結晶セル石英樹立シ、白雲石
ハ淡褐色ノ小晶、數多相集リテ石英ノ晶体ヲ包裹ス。

一 重晶石 石見國遷摩郡佐摩村銀山町大森鑛山
龍源寺坑西下産

斜方晶系ノ板狀透明ノ晶体、數多銀鑛ノ表面ニ附着ス。
一 重晶石 豐前國田川郡下採銅村
字三ノ岳産

一 普通角閃石 豊後國大野郡長谷川村
 大ナル柱状ヲナセドモ、完全ナラズ。濃綠色薄片ノモノハ、透明ナリ。
 一 透角閃石 豊前國田川郡下採銅所村
 銅鑛脈中ニ於テ、黃硫銅鑛重石ト共ニ存在ス。白色纖維狀ニシテ、少量ノ
 灰、柘榴石附着セリ。
 一 陽起石 越前國大野郡上穴馬村
 銅鑛ノ伴鑛石ヲナス。黒綠色ニシテ、筋状ヲナセリ。
 一 異極鑛 飛騨國吉城郡神岡鑛山
 方鉛鑛閃亜鉛鑛菱亞鉛鑛ト共ニ産ス。淡黄色板状ノモノ數多、諸方ニ向
 ヒテ交叉ヲナセリ。
 一 柘榴石 常陸國眞壁郡山尾村
 多量ノ加里雲母ト共ニ花崗岩中ニ産シ、菱形廿四面体ノ結晶ヲナス。血
 紅色ニシテ、稍々透明ナリ。此標品ハ、蓋シ貴柘榴石ニ屬スルモノナルベシ。
 柘榴石トハ、此品ト同形ニシテ、性分モ亦之ニ類似セル鑛物ニ附セシ名
 稱ナリ。

一 橄欖石 飛騨國大野村
 橄欖綠色透明ナル小品數多群集セリ。此鑛ハ近來發見セル所ナリ。
 一 薔薇輝石 羽後國雄勝郡
 此鑛ハ銀鑛ノ伴金石ヲナシテ産出ス。薔薇紅色ニシテ、纖維狀ヲナシ、坵
 銀鑛及ビ少量ノ石英ヲ混ズ。
 一 綠簾石 美作國東北條郡
 藍鉄鑛トモ云フ。粘土ニ此鑛、木葉ノ跡ヲ印シテ、化石ノ狀ヲナス。
 一 綠簾石 加茂村産
 白石英ノ結晶ニ此鑛ノ晶体ヲ附着セリ。綠色半透明ナリ。蓋シ此種ハ綠
 簾石中、ピスタサイト即チ榧子石ニ屬スルモノナルベシ。此鑛ハ近來採
 集セル所ナリ。
 一 橄欖石 清見村産
 橄欖綠色透明ナル小品數多群集セリ。此鑛ハ近來發見セル所ナリ。
 一 薔薇輝石 院内鑛山産
 此鑛ハ銀鑛ノ伴金石ヲナシテ産出ス。薔薇紅色ニシテ、纖維狀ヲナシ、坵
 銀鑛及ビ少量ノ石英ヲ混ズ。

一 加里長石 近江國栗太郡田上村大字

雲母煙石英黃玉石ト共ニ花崗岩中ニ産ス。麻根馬波式ノ結晶体ナセ

一 天河石 信濃國西筑摩郡田立村新田入産

加里長石ノ一種ニシテ、空青色、又ハ綠色ナリ。加里雲母及ビ煙石英ト共

ニ花崗岩中ニ産ス。

○ 隕石 明治十五年三月十九日降下地肥前國杵島郡福富村

天ニ在テハ流星ト謂ヒ、地ニ降レハ隕石ト稱ス。隕石ノ原因ニ就テハ、學者中其說一ナラズ。就中最モ信ズベキハ、獨國博士クライン氏ノ新說ニシテ、其說ニ據レバ、隕石ハ往古月世界ニ於テ、火山ノ作用猛烈チ極メシキ、飛散シタル火山岩ノ碎片ニシテ、月ノ周圍ニ種々ナル曲線軌道チ畫キテ回轉スルノ際、會マ地圖ニ觸レ、我地球ニ墮落セシモノナリト。抑モ隕石ハ自然鐵ノ外、日計留、高保留登、久路無鏡、石墨、銅、輝石、橄欖石、煩火石及ビ我地球ニ於テ、嘗テ見ザル所ノトロイライト、シリカ、アル、マナイト、一種、硅酸、トーブレ、ライイト、硫化鐵、及ビ、ローレンサイト、一、化鐵、シユライ

二二

ハシリト風折性ノ石ノ分ニシテ、單等ヨリ拾レルモノナリ。此隕石ハ明治十五年降下セシモノニシテ、石基中ニ自然鐵ノ粒子チ散在セリ、石基ハ輝石、橄欖石、煩火石、灰長石ニ類シ、鉄、コハルト、ニッケルノ純元素、及ビトロイライト、クローム、鉄鑛等チ含有ス。左ニ長崎縣令ヨリ農商務卿ニ宛タル上申書チ抜萃シ、隕石降下ノ狀況チ知ルノ便ニ供ス。

本年三月十九日管下杵島郡福富村及ビ下分村ニ隕石アリ。此日午後一時頃ヨリ風雷雨鳴轟然トシテ恰モ巨礫チ連發スルガ如ク、餘響未ダ止マザルニ、忽チ虚空ヨリ墮落スルモノアリ。泥土チ遂散シ、黒烟チ吐キ、勢ヒ甚ダ猛烈ナリト。須臾ニシテ天晴レ、其跡チ探索シ、地中凡五六尺ノ下ニ右隕石チ得候。云々

丹波修治

二十枚

○ 石磐 伊勢國朝明郡永井村字タカハラニテ稀ニ成得セラル、モノ、予明治廿

三三

年該地巡回ノ節、二個ヲ拾得ス。餘ハ同村戸長ノ惠ム所ナリ。
 ○小野蘭山翁書 一十幅
 ○百禽圖卷 一十幅
 明治五年六月和歌山博覽會場ニ於テ購求セリ。着色アリテ名稱ヲ付セ
 リ。扱ニ寶永四丁亥十二月寫生トアリ。畫ハ正高ノ筆ナリ。
 ○飯沼慾齋翁朝顔圖 一幅
 余翁ヲ訪ヒタルキ惠マル。實ニ先生ノ遺墨ナリ。
 ○山本亡羊翁書 一幅
 ○松岡玄達翁夏夜獨酌詩 一 幅
 ○桑名郡水産一覽表 一 枚
 此一覽表ハ予ガ編纂セル、三重縣内産物誌稿中、記載スル所ノ河海ノ魚
 介ヲ收載セリ。今其漁獵期ト漁具トヲ聽キ得タルヲ以テ、一表ヲ製シテ
 博雅ノ一察ニ供ス

品名 期 節 漁具 産地
 マタカ 手釣 福地新田、町屋川流末
 ギヤフ 四ツ手網 福地新田、町屋川北揖斐川流末
 全上 イシクラ(?) 赤須賀新田、小貝須地先揖斐川
 全上 イシクラ 小島村木曾川通リ、殿名村押付村江川池沼
 六七月 ナガノ、鰻カキ 平方村、江川
 自三月至七月 ノドゲ、センボン、ソコウケ 千倉村々内、江川
 六七月 カンカウジ 殿名村字シツヤ前池或江川
 全 竹筒 長島輪中
 全 全 加路戸新田、外十ヶ村組合
 全 全 長島輪中
 全 全 西川村、中川村、間々村、高座村、池、江、河
 全 全 福地新田、伊勢海東北、木曾西北、
 全 全 揖斐川西、町屋川流末
 全 全 赤須賀新田、小貝須地先、揖斐川

二四

品名 期 節 漁具 産地
 ギヤフ 三月上旬ヨリ下旬ニ至ル 四ツ手網 福地新田、町屋川北揖斐川流末
 全上 九月ヨリ十月ニ至ル イシクラ(?) 赤須賀新田、小貝須地先揖斐川
 全上 イシクラ 小島村木曾川通リ、殿名村押付村江川池沼
 六七月 ナガノ、鰻カキ 平方村、江川
 自三月至七月 ノドゲ、センボン、ソコウケ 千倉村々内、江川
 六七月 カンカウジ 殿名村字シツヤ前池或江川
 全 竹筒 長島輪中
 全 全 加路戸新田、外十ヶ村組合
 全 全 長島輪中
 全 全 西川村、中川村、間々村、高座村、池、江、河
 全 全 福地新田、伊勢海東北、木曾西北、
 全 全 揖斐川西、町屋川流末
 全 全 赤須賀新田、小貝須地先、揖斐川

二五

黒鯛	蛸	烏賊	全	鰈	鮠	王餘魚	蟹	車蝦	全	小蝦	全	鮪	鮪	全
自三月至六月	自九月至十一月	三月胎子自二月至四月	自四月至十月	自四月至十月	自四月至十月	自四月至十月	自四月至十月	七月土用頃砂川原輪繩ニ生ズ	自四月至十月	自四月至十月	自三月至六月	自四月至十月	初寒ヨリ五月	小ナルヲ小 バエト云フ 方言雜交ト云フ
細操漁、細操舟	瓶揚ケ(方言)	浮ケ引、渡海	長繩漁	全	全	全	全	浮レ引、渡海	長繩漁	全	全	全	全	全
郡境新田地先ヨリ西地ニアリ														

全	全	全	全	全	全	全	全	鮪	全	全	全	全	全	鮪	
自十二月至六月	自十二月至四月	冬季	六七月	全	自十二月至六月	自八月至十月	自七月至十一月	自八月至十月	自六月至十一月	自八月至十月	自七月至十一月	自十二月至二月	自十二月至四月	冬季	三四月胎子 自八月至十月
投網、工木、簀、エリ	ダイボウ、籠	ダイボウ、ノドゲ、ソコゲ	コスミ、引網	投網、エリ、ソコゲ、餌籠 ダイボウ、ガンゴシ、タマ、 ナガノ千本、ノドゲ、 竹筒	ダイボウ、ノドゲ、ソコゲ	ダイボウ、籠	投網、エリ、ソコゲ、餌籠	釣針、簀立、ツケ、投網 鋤網、千本針 簀ヲ立イリヲ以テ 餌籠小網	打網	四ツ乗、投網、立網、サテ	四ツ乗、投網、立網、サテ	投網	釣針、簀立、ツケ、投網 鋤網、千本針 簀ヲ立イリヲ以テ 餌籠小網	冬時	三四月胎子 自八月至十月
長島輪中	加路戸新田、外十ヶ村組合	長島輪中	殿名村、字シツヤ前池或江川	千倉村々内江川	加路戸新田、外十ヶ村組合	長島輪中	殿名村、字シツヤ前池或江川	西川村、中川村、間々村、方座村、池、江、河 小島村、木曾川通り、殿名村、押付村、 江、川、池、沼	木曾川流末	地蔵新田前揖斐川、木曾川	地蔵新田前揖斐川、木曾川	投網	釣針、簀立、ツケ、投網 鋤網、千本針 簀ヲ立イリヲ以テ 餌籠小網	冬時	三四月胎子 自八月至十月

鯰 蛤 全 全 全 全 全 雜魚 アカユイ 白魚 シ、ハ、ビ シ、ハ、ミ 全 蛤 鯰

六月胎生自九月至十一月
 四季九月胎子自十二月至四月
 寒明ヨリ
 自一月至九月十月胎子
 二月子ヲ胎△入寒後七日
 ヨリ十二月十二日マテ
 六月胎生自五月至七月
 自四月至十一月
 自六月至十月
 自四月至十月
 自六月至十月
 自四月至九月

全 貝巻籠
 四ツ鯰、鎌
 卷(方言貝採)
 貝巻籠
 白魚漁、細目籠、四ツ手網
 ヲケ網
 打網
 全
 打繩
 地引大網
 打網、舟、ナガノ、センボン
 エ木、エリ
 打網
 鐵鎌
 ウゲ

福地新田海面此地西、町屋川北、楳斐川東北、木曾川
 木曾川末流、伊尾川先、土店、服部、壽永野亡所地
 獅師町赤須賀新田、小貝須、大貝須新田、福地新田地先、楳斐川
 赤須賀新田先、楳斐川、福地新田先、町屋川、楳斐川
 枕新田地先、木曾川末流
 松陰新田木曾川末流及ヒ伊尾川先土店、服部、壽永野亡所地
 加稻新田外九ケ村、木曾、鍋田、笹川
 木曾分流、鍋田川、加路戸川、笹川
 全
 源録海中
 鍋田川、加路戸川、笹川
 木曾川、ナメタ川流末
 町屋川朝明川筋

魚 鯛 石首魚 全 全 鱈 鯛 鱒 鰻 鰩 鰺 全 全 黒鯛

三月胎子五月
 自八月至十月
 九、十、十一月
 自九月至十一月
 三月胎子自二月至四月
 五月胎子自三月至六月
 自五月至七月
 自三月至六月
 自九月至十二月

長繩漁
 打網
 網採
 全
 全
 全
 長繩漁
 全
 全
 全

赤須賀新田楳斐川筋ヨリ
 志、遠、三、尾等ノ海面
 福地新田海面此地西、町屋川北、楳斐川東北、木曾川
 木曾川末流、伊尾川先、土店、服部、壽永野亡所地
 獅師町赤須賀新田、小貝須、大貝須新田、福地新田地先、楳斐川
 赤須賀新田先、楳斐川、福地新田先、町屋川、楳斐川
 枕新田地先、木曾川末流
 松陰新田木曾川末流及ヒ伊尾川先土店、服部、壽永野亡所地
 加稻新田外九ケ村、木曾、鍋田、笹川
 木曾分流、鍋田川、加路戸川、笹川
 全
 源録海中
 鍋田川、加路戸川、笹川
 木曾川、ナメタ川流末
 町屋川朝明川筋

国立国会図書館 請求記号 特7-338
 タイトル 『錦[カ]翁九十賀壽博物會誌』

ガラス使用

香魚

自六月至十一月

トアミ、子アミ

町屋川

鯉

自十二月至四月

釣針、簀立、ツケ籠、投網、鋤網、千本針

西川村、中川村、間々村、高坐村、池、江、河

全

三四月胎子自八月至十月

ノドケ、センボン、ソコウケ、ガンカウツ

木曾川油島新田

全

六七月

引網、コスミ、四ツノリ

殿名村字シツヤ前池或江川

全

三四月胎子自八月至十月

釣針、簀立、ツケ籠、投網、鋤網、千本針

西川村、中川村、間々村、高座村、池、江、河

全

冬季

ツコウケ、ガンカウツ、千本ノドケ

南郷村字八ノ市八ノ二瓢置池新七西蓮池

全

六七月

投網、エリ、ソコケ、餌籠、ダイボウ、ガンカウツ、タマ、ナガノ、千本、ノドケ、竹筒

平方村、江川
千倉村々内、江川

全

自十二月至一月六七月

ツケ、簀、ナガノ

長島輪中
加路戸新田、外十一ヶ村組合

全

四時

ダイボウ、籠

長島輪中

白魚

サテ

地藏新田前、揖斐川、木曾川、

内川魚

コフナ、ナマヅ、ウナギ

サテ、カキアゲ、千本針、ウダ、ノドケ、ダイボウ、打網

下坂手村、西川村、越石、松江村、上坂手村

鱒

自三月至五月

四ツ乗、引アミ

木曾川通り小島村、押付村邊

全

藥性直傳 曲瀬道三自筆

寫本一冊

○藥性直傳 曲瀬道三自筆
奥書ニ于時天正第五丁丑年梅月廿四日落下翠竹庵一溪史一齡道三書之
トアリ。蓋シ世ニ古道三ト稱スルモノナリ。書中、玉、石、草、蟲等ノ藥性ヲ詳
載セリ。實ニ今ヲ距ル、三百三十四年前ノモノニシテ、予ノ祖父丹波甫見
ノ愛翫スルトコロナリ。

右八品

西村 二平

○乙寶寺縁起繪詞

原本 詞書正二位權中納言兼香宮大夫臣源朝臣繪
繪所正五位下行加賀守藏原伊久 貞和三年八月

寫本一冊

集古十種編輯ノ時、已ニ原卷ヲ失シ、此卷ニ依リ、騰寫セシト云フ。樂亭藏
書ノ一ナリ。

右一品

土井 幹夫

○あめりか松の實寫生畫 井上榮亭寫生

一 枚

コノ松毬ハ去ル明治二十年、予東京滞在中、山林局在勤親友北原大發智君ヨリ惠マレタルモノナレドモ、未ダ其何種タルヲ辨断スルヲ能ハズ。然ルニ廿二年元農林學校學士某氏、暑中休暇ヲ得テ偶マ熊野地方林學上實地經驗ノ爲メ暫時予ガ家ニ投シ、滞杖中、予ガ質問ニ對シ、別紙之畧解ヲ與ヘラレタリ。

Pinus sibiricum.

マイエル先生口述

此樹ハ北米カリフォルニア地方ニ自生ス。葉ハ三出ニシテ其長サ凡三寸餘アリ。球實ハ甚ダ大ナリ。成長ノ遅キ樹木ニシテ、高サ二間位ニ至レバ上長力止ミ、枝極非常ニ擴張シ、恰モ傘狀ヲナス。此ノ如ク上長力遅クシテ、枝極ノ擴張甚シキ樹ヲ稱シテ Tier Baum (チールバウム)ハ飾木ノ義ト云フ。北米ニハ之ヲ庭園ニ植ヘテ裝飾樹トナス。前述ノ如ク二間位ヨリ上長セザルノミナラズ、材質不良ナルヲ以テ用材トナスベカラズ。只纔カニ薪材ニ供スルニ足ルノミ。生長モ本邦ノ黒松ノ如ク迅速ナラズ。依テ之ヲ植樹造林スルモ、經濟上利益ヲ見ルヲ蓋シ尠少ナラン。此樹ハ温暖ノ地ニ適スルヲ以テ、紀伊地方ニハ能ク成育ス。

○海松材小板 紀伊國北牟婁郡尾鷲町字古戸密柑山産 一枚
同毬實 一個

松樹ノ種類甚ダ多シト雖也、就中「チヤウセンマツ」ハソノ材質頗ル緻密ニシテ、家屋ノ料トナスヲ得ベク、又船材トスルニ適ス。松子ハ生食スベク、又炒リテ食フベシ。實ニ有益ノ樹ト謂フベシ。左ニ此樹繁殖ノ來歴ヲ略記セン。今ヲ距ル九十年前享和二年ノ頃、有名ノ本草家小野蘭山先生、幕府ノ命ヲ奉シ、我紀伊國能野山中採藥、並ニ物産調査ノ爲メ巡回ノ際、予カ家ニ駕ヲ駐ラル。曾祖父土井嘉八郎南橋ト頗ル意ヲ物産繁殖ニ用キ、紀州藩本草家小原桃洞氏通稱源三郎ノ紹介ヲ得テ、蘭山翁ニ就キ、物産學ノ教示ヲ仰ギシト云フ。近郡採藥ノ際、同翁ニ陪從シテ專ラ動植鑛諸物ヲ研究セシト云ヘリ。其際同翁ヨリ國益トナルベキ數種ノ植物種子ヲ投與セラレタリト。當時此海松ノ種子ヲ得テ之ヲ播種セシニ、成育繁茂シテ肥大トナレリ。今茲ニ出品スルハ、即チ其材ノ一部分ナリ。毬モ亦然リ。目今種子ヲ連載シ、數千株ノ苗木ヲ繁殖シテ一ノ山林トハナレリ、此度尊老大人、賀壽ノ博物會開設ヲ拜聽シ、懷舊ノ餘、之ヲ出品ス。

海松栽培方法

松子下種ノ季節ハ普通ノ松ノ如クニシテ、啓蟄ノ候、則陰曆ノ二月ノ節
 ナ良シトス。海松子ハ粒々頗フル肥大ニシテ、尋常松子ト違ヒ、下種ノ前、
 種子ヲ器ニ容レタル清水ニ浸シ置ク、兩三日、稍、膨脹スルヲ度トシテ
 水ヨリ揚ゲ、下種スルヲ良シトス。苗床ノ土質ハ水氣ノ流レ宜シキ陽向
 ニシテ、赤土ニ稍、壤土ノ交リ、稜角形ノ小石ヲ混ズルノ地ヲ適當トス。原
 肥ハ植物焼灰ヲ良シトス。澆肥ハ薄キ水糞ヲ用ユ。下種ニハ撒ラシ播ノ
 稍、荒キ方ヨシ。土ヲ覆フ凡五六分ヨリ一寸位ニ至ルヲ要ス。二三十日ニ
 シテ松子發芽ス。下種シ扁柏葉等ニテ苗床ノ日覆ヲナス。最モ雉子、鳩、及
 ヒ山野ニ飛翔スル有害鳥ノ好ミテ啄食スルモノナレバ、勉メテ之ヲ豫
 防セザルベカラス。發芽ノ後、苗床ニ揚ゲ日覆ヲナスヲ要ス。
 ○てんぐさ 石花菜 まぐさ及
ひらぐさ 二品
 紀伊國北牟婁郡各浦到ル處、概テ之ヲ産セザルハナシト雖、
 村、長島村、三野瀬村、白浦島、勝浦ヲ最トシ、尾鷲浦、スガリ浦、九木浦等、之レ
 ニ亞グ。毎歲四五月ノ頃ヨリ退潮ノ時ニ臨ミ、土人海中ニ入り、海岸岩礁

ニ附着セルモノ、又ハ海底ノ岩石ニ生育セルモノヲ採集ス。方言ガソカ
 リト云フ。又器具ヲ海底ニ沈メ、舟中ヨリ網ニテ曳キ採集ス。之ヲ海濱ノ
 砂礫上ニ攤開シテ、日光ニ乾シ、或ハ晴夜其儘ニテ夜露ニ當ツレバ、其色
 稍、白色トナル。石花菜ハ、小石、砂礫、貝殼等、夥多附着シタルモノナレバ、六
 月土用中ニ淡水ノ流ヘ持出シ、曰ニテ春キ、水ニ晒シナガラ淨洗シテ附
 着物ヲ脱却シ、又水ニテ洗滌シ純白トナルニ至リテ止ム。之ヲテソグサ
 製法ノ概畧トナス。小石、貝殼、又ハ塵埃ノ混入セザル様、注意ヲ專一トス。
 貯藏ニハ充分日乾シタル石花菜ヲ筵俵ニ包ミ貯フ。能ク晒製セシモノ
 ハ品位色澤ヲ損スルコトナシ。荷作り法ハ筵俵ニ包ミ、口ヲ緊結シ、更ニ繩
 ナ以テ結束ス。〔効用〕石花菜ハ凍瓊脂ヲ製スル原質ニシテ、伊豆、安房、志
 摩、土佐、豊後、日向、其他諸海ニ産スルモノヲ以テ、最良ノ品トナセドモ、我
 紀州沿海ニ産スル石花菜ハ、北牟婁郡ノモノヲ殊ニ佳良ナリトシ、神戸、
 横濱諸港ニ於テ最モ好評ヲ博セリ。又博覽會、品評會等ニ於テモ賞與ヲ
 得シコアリ。カンテンハ古來支那貿易品ノ一ニシテ、或ハ糶料トナシ、所
 用頗フル多シ。暑熱ノ候ニハ、トコロテンヲ製シ、砂糖ニ和シテ食用トナ

ス。 一幅

○貝原益軒先生書愛蓮說。水陸草木之花。可愛者七莖。晉陶淵明獨愛菊。自李唐來世人皆愛牡丹。予獨愛蓮之出淤泥而不染。濯清漣而不妖。中通外直。不蔓不枝。香遠益清。

貝原益軒書

一幅

○稻生若水先生書翰

尙以見事之野鴨懸御意辱奉存候不打置賞味仕候寒中保養之爲別而欣喜仕候也

一昨十五日之貴札相達辱致拜見候如仰寒烈ニ御座候其御地宇訓様始御家内彌御清健之由欣喜不過之奉存候先以見事之縁頭臈一羽御嘉贈被下辱奉存候不打置賞味仕候毎々荷御懇情御禮不知所謝候兼而御頼申候處之乾鯉御調被下御煩勞之御事辱奉存候二十ト申進候得共少小形ニ有之候付三十疋御調被下候趣辱奉存候是又昨日伏見ヨリ京若仕候御煩勞之事而已御頼申進辱奉存候

一ヒソリヤウ之事御申越候漢名珊瑚ト申候者致富全書之中ニ見ヘ申

候ヒソリヤウ之儀ト存候間左様ニ御心得可被下候

一年賦金並三太郎様へ御取替申候金銀合セテ八兩百廿匁七分九厘御爲上被下致落手候則請取致進申候

一江州へ藥禮之儀御申遣被下候趣辱奉存候追付上リ可申ト存候間重而御申遣被下不及候左様ニ御心得下さるへ候

一俗書之儀安キ御事御座候則取集進申候此内ニ伴市狀モ御座候伴氏俗書之文言能御座候様ニ存候間進申候

一金子三十兩銀三百目右之分當廿五六日頃迄ノ内ニ御爲上被成可被下候拂用仕度候間乍御煩勞御家頼中へ御申付候而御爲上可被下候奉

頼候尙期後音之時候恐惶謹言

十二月十七日

稻若水(書判)

井狩善五郎様

貴座

退啓柳川生より御頼被申候紙包早々御達被下候趣にて先方之請取御爲上被下候則忝存候爲持遣申候御紙面も拜見し辱奉存候拙者よ

り相心得申進候様被申候
 元録年間、首メテ物産學ヲ専ラ主張セシハ、江戸ノ人、稻若水翁、名ハ宣義
 ナリ。篤學多識ニシテ、著書最モ富ミ、庶物類纂二千卷ヲ編集シ、加賀宰相
 ニ呈シタリ。物産ノ諸説、引證宏博ニシテ、古今此學ニ於テ、斯ノ如キ鴻業
 ナ爲ス者アルヲ聞カズ。寶永六年、新井白石ノ囑ニ應ジテ、詩經小識ヲ著
 ハス。其他炮炙全書、食物本草、採藥獨斷等ノ數部アリ。又本草綱目ヲ校刻
 シ、附録等アリテ、伊藤東涯、室鳩巢ノ二氏、之ヲ讚賞セリ。土井幹夫、雅君囑
 八十八翁錦窠識。二百日、
 ○稻生若水先生書大字 一幅
 輝光逐日新 若水書
 ○小野蘭山先生書 一幅
 蝦蟇水上眞書出蚯蚓泥中草寫之 七十有九翁蘭山書 一幅
 ○平賀鳩溪先生文 矢口荒靈新田神徳後序 一幅
 近松老翁世を戯場に避て敷の淨瑠璃を作けるに筑後播磨の名人有て
 普く世上に行渡り勸善懲惡世を教ゆる一助たる事是近松氏の本心な

り中頃千□軒文耕堂か類もまた近松氏か意を受けて作れる所正しけれ
 は此道是さかなりしがいつのほどよりか衰て今時の作者は固より
 そこ所てはなく文法を去らず手爾於葉を辨へす嘲を遠近に傳へ耻を
 千歳に残すよめぬ同士か、ぬ同士金鼈雷をこはからず盲蛇ものにお
 ぢざれども五年か三年に一度犬も歩行は棒に逢ふ闇の夜の鏝炮まぐ
 れ當りはくらんの藥ははんらん病が買に来る遅牛も淀早牛も淀それ
 も作者これも作者雁飛は飛て見たがる石龜仲間のじだんだ組すつべ
 らばんの鼈作者泥水に足を踏込首をすつこめ敬白 福内鬼外書
 火浣布隔火
 火浣之布自古有名彼妄造説臆度意量木皮斯調鼠毛南荒或果誣理謂傳
 者妄滓溟造物寧可推窮陽中有陰陰中有陽入火不化柔能制剛昔西戎今
 我 東方織成素縷週以銀鑲一片隔火百炷襯香書堂清供繡房風情
 明和甲申秋八月大日本讚岐鳩溪平賀國倫創製
 鈴木楓園曰。福内鬼外ハ平賀氏、名國倫、字士彝、稱源内、東都人、寶曆年中
 没ス。物産ニ精シト見ユ。

○松岡玄達先生書郭巨山青幅記

額一面

四〇

郭巨山者摸後漢郭巨孝感故事錦帷繡幕以粧成一山每歲夏六月七日祇園會從神幸之前列蓋數百年于茲矣其背後一幅經久色暗文漫闔中相共議改製之編索其奇古精工可以配從前所有者而無得焉去歲幸贖得古織一幅紺質五采奇古精緻殆非近世物恰適其所需相傳元順宗至正中所命工織久藏於翰林院中厥後吾朝僧中津絕海入明大祖皇帝召見問熊野徐福祠命賦詩且賜之和章及此物東歸之日將來遂留之一禪刹云其長闊若干尺此之前不止稍勝實希世之珍可以傳之永久以勸激孝道闔中請述其顛末因爲之記歲月云肯享保己亥春二月望平安松岡玄達成章謹識

○山本亡羊先生合作書章夫秀夫錫夫士稷農夫善夫諸氏合作

德川家

○救荒本草明王西樓輯七冊一救荒野譜全上一冊版本圖入合計八冊

正德乙未伊藤長胤ノ序アリ。

○本草蒙筌明陳嘉謨著唐本八冊

明嘉靖年間刊行ノ書ニシテ、草木、穀、菜、菓、石、獸、禽、虫、人ノ各部ニ別テ每品圖書ヲ挿入セリ。

○張州雜誌寫本設色圖入 內藤正參開水著並圖入 全部百卷ノ内第一卷及第九十七乃至第一百卷物産部 五冊

寛政元年赤林信定ノ序ニ曰。卷中書畫内藤開水ノ手ニ成リ、同人没後次第ヲ別テ、合ヒテ一百冊トナス云々。凡此書ニ載スル所ハ、尾州各郡ノ地圖、産物、故事等ナリ。就中第一卷ニハ風土ヲ記シ、第九十七卷ニハ普草雜草ノ圖說ヲ掲載シ、中ニ山珊瑚等ツチアケビモアリ。第九十八卷ニハ普木、第九十九卷ニハ禽類、又第一百卷ニハ魚類、蟲類、及ビ獸類ヲ登録セリ。

○吉蘇志畧松平秀雲著寫本設色圖入 三冊

松平秀雲、藩命ヲ奉シ、自ラ木曾ノ境ヲ巡歴シテ取調ベタル所ノ地誌ニシテ、木曾ノ地圖、並ニ産物ノ圖ヲ掲載セリ。蓋シ秀雲自ラ筆シテ藩公ニ上リシモノナリ。序ニ寶曆丁丑臘月日三州松平、臣秀雲謹書トアリ

○吉蘇産物寫本全部十冊ノ内一冊

吉蘇山中ニ産スル、藥草ノ圖說ヲ擧グ。序文ニ寶曆乙亥八月岐嶺醫道益自叙トアリ。卷首ニ上卷三十五品附分十種トアリ。

四一

○木曾総繪圖 寫本一 帙
右六品

岡 誠 五 郎

○海内方物紀略 藁本 薩摩物産家曾樂自筆 寫本全一冊

海内諸州ノ人工、及天産物ノ名稱ヲ、州ヲ分チテ記載セリ。序ニ文化戊寅
正月八日、右春老人曾樂シルストアリ。

曾尙啓ハ博物ノ大家ニシテ、薩藩ノ命ニ因テ編纂セシ成形圖説ノ如キ
モ、参考ニ最モ有益ノ著述ナリ。其書百卷、鴻業ト稱スベシ。ソノ三十冊ハ
文化年間、之ヲ上梓セリ。此海内方物紀略藁本モ、ソノ自筆ナレバ、最珍玩
スベシ。

○重刻甘藷記 青木敦著、鈴木俊民重刻、文政戊寅九月越智直澄復寫。寫本全一冊

青木敦ノ原著ニシテ、享保十九年出版シ、東都呂實夫元丈ノ序アリ。延享
二年鈴木俊民、之ヲ重刻セリ。此書ハ文政年間、越智直澄ノ、更ニ復寫セシ
モノニシテ、甘藷ノ種類、培養法、並ニ料理法ヲ説明ス。書中白芋、三ッ葉芋、
胡蘿、藷芋、櫻芋、薩摩芋、狐芋、以上六種ノ圖ヲ出シ、彩色ヲ施セリ。甘藷ニ就

キテ参考ノ料トナスニ足ル。
右二品

岡 田 松 之 助

三十五種一 箱

○石馬 両山 鑛物
○江馬 活堂 翁 略 傳

右二品

岡 田 靜 堂
佐 野 秋 造

六十八品

○勢州員辨郡坂本村正寶寺山産植物類益裁
キンシハイ
コタニワタリ
カンサンシヤウ
ユヅリハ
ツルマサキ
キリンシダ

チャルメルサウ
フタリシヅカ
カラマツサウ
大井ノモトサウ
テイカ、ヅラ
ガンシビサウ

キシノチシダ
イカリサウ
フジシダ
トウゲシバ
アキチヤウシ
ハナイカダ

カウモリカツラ	ヤハタミヅヒキ	タニカラムシ
ヨシノシヅカ	リヤウブ	ホタルブクロ
クシヤクシダ	キンバイサウ	イツセンリヤウ
ダモグス	イヨヅメ	ヤマムラサキ
キハギ	アサマツゲ	ツタ
フタバアフヒ	イハベンケイサウ	イカリサウ 黄花ノ品
ウリノキ	ヤマニシキ	コカヒノキ
ヤマブキシヨウマ	クリハラソ	ダイハンゲ
ダイモヂサウ 菊葉ノ品	ヤブソデツ	チヤヒキグサ
タナフウロ	キンミヅヒキ	マツカゼサウ
コナラ	クリンサウ	サイコクハラ
シホガマサウ	オホスミレ	アチキバ
イハギハウシ	イハカヒミ	エビラフヂ
オニシバリ	カシハハグマ	ヤマアサ
ツマキリマテンサウ	ヤマホクサ	サ、クサ
		ヤマアゲササ

四四

ウハハミサウ ヨロヒラン ヤマアゲササ
 シユモクシダ ナルコユリ

右六十八品

奥田十一夫

八十種七箱

○尾州知多郡産動物標本類

一管口魚 ウミテング、ヤウツウチ、海馬 四種 一同上 管口魚中ヤウツウ魚ニ似テ、扁タク、其尾海馬ノ如ク卷曲シタルモノハ、予ガ始メテ知多郡常滑ニテ發見セシ 一種 一蝦蟹族 十六種

モノニシテ、奈良坂源一郎氏ハ付スルニ、三角海馬ノ名ヲ以テセリ。然此名未ダ當テ得ザルモノ。如シ。因テ識者ノ考證ヲ俟ツノミ。

種 一同上 十六種 一同上 十三種 一無頭屬 若荷兒石脚ノ屬

十二種外二種 一同上 十六種

○同上 二百三十種八箱

一腹足族 蝸牛及各種ノ螺 三十二種 一同上 貝及各種ノ螺 三十二種

一同上 石決明、蠟石、龜其他 三十二種 一同上 鷓鴣心螺及各種ノ螺 三十二種

一臂足族、蚌蛤族 三十二種 一頭足族、腹足族 凡二十五種

一蚌蛤族 凡十五種 一同上 凡三十種

○同上 百十四種七箱

四五

一 蚌蛤族 サクラ介 其他 二十八種

一同上 半邊 蝸屬 凡十五種

一 石蛇 十二種

一 珊瑚屬 十種

○ 同上

一 鳥類 蚊母鳥 其他 海産ノ者 十五種

通計二十四箱四百五十七種

○ キンガシラ 蝙蝠アルコホル漬 一 瓶

右五點

○ イトキンバウケ 日光赤沼原産盆栽 毛萇科 一 鉢

○ 植物類折枝

オホツラフヂ 防已科

ビヤウヤナギ 金絲桃科

ハマボウ 錦葵科

ウハミヅザクラ 薔薇科

ハカリノメ 薔薇科

バクナノキ 薔薇科

ハチジャウサウ 繖形科

ト子リコ 木犀科

カナシデ 蕁麻科

小塩 五郎

十七種

イヅセンリヤウ 紫金牛科

ハイノキ 齊墩果科

ト子リコ 木犀科

ムマノスバグサ 馬兜鈴科

アチガシ 樟科

勢州御山産

カナシデ 蕁麻科

アキニレ 蕁麻科

ユリ 百合科

花月ニテ吉ノ川ト呼ブモノ

○ 柘 勢州御山産折枝 一 品

柘材ハ桑材ト同ク好良ノ品ニシテ、通常周圍五六尺、長サ一丈餘ニ達ス。

大坂及東京ニ於テハ、桑材ト共ニ火鉢其他ノ器具ヲ製作スルニ用フ。偽物頗ル多シト云フ。

○ 簾接之圖並解説 一 枚

右四點

○ 出芽椰子 一 個

右一品

○ 印度貝多羅葉マレイ字經文 明治二十四年 印度留學生 小泉氏所寄贈 一 枚

○ スツドラカ實念珠 明治二十四年 印度留學生 小泉氏所寄贈 一 連

○ 不知火考 肥後中島廣足著 天保六年出版 一 冊

加藤 存 瀏

渡邊 領 助

日本紀等ノ諸書ニ徴シテ不知火事跡ヲ詳細ニ論シタルモノナリ。處々ニ圖書ヲ挿入セリ。

右三品

○馬腦石

五種一

加藤顯吉

○清人王閔洲七律

一幅

○全林朝錦書

一幅

右三品

賀來飛霞

○菌類寫生圖

四枚

○植物腊葉

二十品

一竹籜同前葉

此品ハ外國ヨリ砂糖ヲ圍ヒ來ルモノヲ取テ藏セシナリ。蓋シ俗ニトウヨシト稱スルモノニシテ、南洋諸島ノ産ナルベシ。五十餘年前、日州ニ遊ビシニ、海邊沙上ニ何レニモ夥シク此根ヲ波濤ニテ打寄セタルヲ、土人

拾フテ薪ニ代ヘ、藩士ハ馬鞭トナシタルヲモ見タリ。幹ノ漂着シタルハ至テ稀ナリ。偶マ之レアルモ葉ヲ着ケタルモノナシ。幹ハ中空甚小ニシテ、其枝ノ節ニ付ク處ハ甚ダ肥大ナリ。肥前島原藩士ノ園中ニ數本栽ヘアリシヲ見タリ。葉大ニシテ、シゲク高ク立チテ、稍、奇觀ナリキ。後島原ニ遊ビシ時ハ他ニモ栽ヘシモノアリ。秋月筍ヲ生シ、食用トスルニ、味淡竹ニ及バズト聞タリ。先年臺灣征伐ノ際、分取ノ弓、又竹劔ヲ見タルニ、身至テ厚ク、恐クハ此竹ニテ造リタルモノ、如シ。

一ヒバロノキ(共ニ東京)

葉背稍、白色ナリ。是レアスナロナルベク、眞ノヒノキニハアラザルベシ。

一ガマシラヒ(東京)

葉ノ表裏共ニ同シ。是レヒノキノナルベシ。

一ビヤクダン(東京)

葉ノ表裏共同シ。品異ク、ヒノキノナルベシ。

一ヒメアスナロ(東京花戸)

葉背白シ。葉ノ表裏共同シ。

一 シヤモヒハ東京 葉ノ表裏共ニ同シ。
 一 ナヤボヒハ東京 葉ノ表裏共ニ同シ。
 一 ヒヨクヒハ東京 葉ノ表裏共ニ同シ。
 一 ヒハ東京 葉ノ表裏共ニ同シ。此品真ノヒノキ歟。
 一 孔雀ヒハ東京
 一 苔籬關東高山産
 外 三品
 右二點
 ○ タイサンボク 木蘭科折枝 梶規秀
 右一品
 ○ ガランチャウノ圖 吉田甚之丞
 ○ ナンキンナ、カマド 勢州菰野山産盆栽
 ○ 江州武佐古樹 八合入

五〇

右三品
 ○ 鳧雁狩獵說 柳檜悅著 明治廿五年刊行
 柳檜悦氏ノ遺稿ヲ、大日本水産會ニ於テ、出版セシモノニシテ、千葉縣下
 手賀沼ニ於ケル、鳧雁ノ狩獵法、及ビソノ用具ヲ説明シ、附スルニ千葉縣
 知事ヨリ廻答セル、手賀沼鳥獵調査書ヲ以テセリ。卷末ニ獵具ノ圖アリ。
 ○ カニシダ莖 並同植物莖製煙管 一東
 ○ タケノリ 羽前國月山産 一品
 食料ニ供スルモノニシテ、食方ハ「キノリ」ト畧似タルモノナリ、是ハ先年
 依蘭蓉ニ代用シタルモノト同物ナルヘシ。
 右三品
 田中節三郎
 ○ ヤンバルゴマ 山芝麻菩提樹科 琉球八重山群島西表島産腊葉 一品
 ○ アハダン芸香料 琉球宮古島産腊葉 一品
 ○ サントウ 琉球八重山群島與那國島産 百合科腊葉 一品

五一

- ヤマヒハツ 大戟科 群島與那國島産 一 品
- ハウチハノキ 無患樹科 群島西表島産 一 品
- ミヤコシマハナワラビ 羊齒科 群島與那國島産 一 品

右六品

田中房種

- アフギガキ 寫生圖 鹿兒島縣下産 軟体動物瓣鰓類 一 枚
- シテガキ 寫生圖 柿樹科 一種 東京練馬村邊ヨリ出ツ 一 枚
- オキアプラメ 出羽 寫生圖 長二尺二三寸ノ魚ナリ 一 枚

右三品

田中宣之

- 水族寫真 奥倉魚仙撰 安政四年原版 田中宣之縮寫 寫本全一冊
- 此書ハ魚仙與倉辰行著ハストコロノ水族寫真ヲ騰寫縮圖セルモノニシテ、毎圖後、直ニ解説ヲ附記シ、以テ比較ニ便ナラシム。明治十二年京都田中宣之氏ノ復寫スルトコロナリ。

右一品

田中茂民

五二

○象齒化石

コレ往古我日本ニ棲息シタル象類ノ齒ニシテ、南海道讃岐國ノ北方、瀬戸内海ニテ發見セリ。漁人之ヲ蛇骨ト稱シ、屢々其脚骨ノ化石ヲ採獲ス。然レモ其齒ノ如キハ甚ダ稀ニシテ、頗ル大ナル者ヲ獲ルコトナリ。

○平家蟹 *Dorippe callida*, Fabr.

四個入り箱

コノ蟹ハ節足動物、甲殼類、胸甲類、十脚類、短尾類ニ屬シ、南海道四國ト、山陽道トノ間ナル瀬戸内海ニ産ス。邦俗之ヲ平家蟹ト呼ブ。甲ニ假面ノ模様アリテ、甚ダ奇ナリ。是レ壽永四年、源平兩家、此海上ニ戰爭シ、平家ノ一門、海底ニ沈ミタルモノ多ク、其靈、化シテ蟹トナリタルトノ妄想ヨリ名ケタルモノナリト云フ。

○カンカン石 一名響石 *Clinking stone*.

一個

コノ岩石ハ南海道、讃岐國、白峯山中ニ多ク産シ、其板狀ノモノハ、之ヲ鐵若クハ角製ノ棒ニテ敲ケバ、能ク鳴リ、恰モ金屬ノ響ノ如クニシテ餘音アリ。故ニカンカン石ト稱アリ。其奇形ナルモノハ、之ヲ研キテ光澤ヲ出

中澤謙

五三

シ、置物トナシ、文人ニ珍重セラル。其學說ハ載セテ地學雜誌第二集第二十一號ノ雜報ニアリ。今其一項ヲ左ニ抄録ス。

〔前畧〕古銅石ト柘榴石ヲ含ム。富士岩ニシテ、四國殊ニ讚岐ニ多シ。〔中畧〕讚岐地方各地ニテ人ノ知ル如ク、所謂カンカント鳴ル。カンカン石ノコトナリ。之ヲ顯微鏡下ニテ映視スルトキハ、古銅石ト稱スル小礦物ト、玻璃質而已ニテ研キシ石ハ黒ク且ツ煎織ノ光アリ、外觀ハ黒曜石ニ似タル所アリ。之ヲ敲ケバカンカント響キ、音ヲ發ス。〔中畧〕獨乙ミユ一ニツク府大學ノワインシニンク氏ハ之ヲ研究シ、未ダ岩石學ニ古銅石ト、玻璃質ノ合分ナル石類ハ學問上曾テ聞カザレバ、カンカン石ハ新種ナルヲ認メ、其石讚岐ニ多ク產出スルヲ以テ、Sannkiteノ新名ヲ下セリ。

右三品

○勢州菟野山産植物類盆栽

中島久左衛門
宇佐美祐次
小林源之助

中 四十四品

五四

バイクワウレン	キンダンクワ	アチシモサウ
キリンサウ	キンコウクワ	コウガヒゼキシヤウ
ヒキオコシ	ヤマギク	ミナモトサウ
ミヅギク	シバタツナミサウ	ハタウコン
ヤマトウチハ	ナンキンナ、カマド	ニシキゴロモ
ミヤマシキミ	コシヤウノキ	シマギク
ギヤウジヤニンニク	タマガハホト、ギス	イハゼキシヤウ
トウゲシバ	カウヤスギ	オホトンボサウ
ヌスビトノアシ	イハタバコ	ダイモシサウ
イハギバウシ	イハガラミ	イチヤクサウ
イナモリサウ	ヤマスマミレ	クラマゴケ
ホラゴケ	ウラハグサ	ユウダチガサ
ヨシノシツカ	シキミ	サイシン
イシモチサウ	マンサク	コマトメメ黄花ノ品
エビ子	ヤウラクツ、シ	

五五

右四十四品

内田健之丞

寫本二十五冊

○草類寫生圖 筆者詳ナラズ。或曰。大垣江馬活堂ノ纂ムルトコロナリト。或ハ然ラン。草木ノ圖數百ヲ雜纂シ、且彩色ヲ施セリ。

右一品

梅村甚太郎

○ミソハギ三形花腊葉 短雌蕊、長雌蕊、中間雌蕊

三枚

○羊齒類腊葉

五十種

コガネワラビ
イブキシダ
ヒメシダ
アチガチシダ
カウザキシダ
チヤセンシダ

オリヅルシダ
ヤブクシヤク
ホソバノイタチシダ
キヨタケシダ
シラネワラビ
スリトラノチ

ヒロハノイヌワラビ
エビラシダ
アチカヅラ
ヤノチシダ
マツザカシダ
カラツサシダ
シケチシダ
コバノイシカグマ
コタニワタリ
オサシダ
クモノズシダ
オホコケシノブ
イハデンダ
アツイタ
クサソデツ

ヘラシダ
ミヤマイツマダグサ
イハオモダカ
ハチシヤウシダ
アマクサシダ
サシラン
ハコチサウ
シノブ
Trichomanes Filicula, Bory.
ヘゴ
シ、ラン
カウヤノコケシノブ
ヒメウラシロ
フユノハナワラビ
アミシダ

五七

五六

ナチシダ
オホハノアマクサシダ
リウビンタイ
フサシダ
○志摩海藻類標本
Sargassum Horneri.
ホシダハラ
トサカノリ
Schizymenia edulis.
G. platynus, var. p.
ツノマタ
G. sp.
Porphyra vulgaris.
カハモツク
アラメ

チリメンシダ
コガネワラビ
オニミダ
シヤマノコギリシダ
四十種
Sargassum ilicifolium.
Dicyota dichotoma.
ランヅサ
Chondrus platynus?
G. crispus.
Callophyllis eroso-dentata, Okamura.
Do.
Chondria crassicaulis.
カキ
Moseglœa virescens.

Phaeocarpus complatus.
Seytosphon lomentarius.
Dicyota sp.
Chaetomorpha sp.
ミル
ワカメ
Chordaria simplex.
オゴノリ
フサノリ
Chondria sp.
右三點

Galaxaura marginata.
Cystophyllum Plumbergii.
インアンギ
ムカシノリ
Bryopsis plumosa.
Lomentaria catenata.
ウツギ
Halysertis polypodioides.
Phyllitis Joscia.
Halymenia ligulata.

○植物類折枝
キカラマツサウ伊吹山産毛茛科
リリオデンドロン、チユリプフェラ木蘭科
ラウバイ蠟梅科
オホツハラフザ和州産 防已科

久米 安 政
五十二種

ヤマトナデシコ 伊吹山産 石竹科
 ナツ、バキ 勢州産 山茶科
 シラクナヅル 山茶科
 ヘンルウダ 芸香科
 キハダ 惠那山産 芸香科
 ハマナツメ 鼠李科
 トキハカヘデ 惠那山産 無患樹科
 ヤマビハ 勢州御山産 清風藤科
 ドクウツギ 木本黄精葉鉤吻科
 ムラサキマメ 荳科 洋種
 ホザキシモツケ 薔薇科
 ゴトウヅル 勢州治田村産 虎耳草科
 イブキバウフウ 伊吹山産 繖形科
 ハナカシ 菊科
 ツルニンジン 尾州竜泉寺山産 桔梗科
 トモエサウ 伊吹山産 金絲桃科
 アカメヅル 惠那山産 山茶科
 シナノキ 伊吹山産 菩提樹科
 マツカゼサウ 芸香科
 チヤンチン 棟科
 アメリカツタ 葡萄科 洋種
 ミツバウツギ 伊吹山産 無患樹科
 ツタウルシ 蕨野山産 漆樹科
 ツララフデ 荳科 白花ノ者
 ドヨウフデ 二川宿産 荳科
 ミヤマダイコンサウ 白山産 薔薇科
 キヨマサヒンジン 繖形科
 タニウツギ 豆州熱海産 忍冬科
 モミヂサウ 惠那山産 菊科
 リヤウブ 尾州八事山産 石南科

六〇

ハクウンボク 勢州産 齊墩果科
 オホヒルガホ 旋花科
 ゴマノハグサ 玄參科
 キサ、ゲ 紫葳科
 ウツボサウ 白花品 唇形科
 カウシウウヤク 樟科
 タカトウダイ 大戟科
 シラクキ 蕨野山産 大戟科
 ヘボガヤ 伊吹山産 松柏科
 ○植物類 益栽
 シキザキオホヤマレンゲ 木蘭科
 シマトベラ 小笠原島産 海桐科
 テリハボク 藤黃科
 イブキフウロ 伊吹山産 牻牛兒科
 イハウメヅル 衛矛科
 シキザキモクシセイ 木犀科
 イガホ、ヅキ 茄科
 ヒヨクサウ 玄參科
 シマツラ 馬鞭草科
 ハリハリノキ 勢州御山産 樟科
 オホバクロモシ 惠那山産
 ナツトウダイ 大戟科
 カシマガヤ 禾本科
 アラ、ギ 松柏科
 トリモチノキ 勢州産 木蘭科
 オホヤマフスマ 石竹科
 ボンデンシラ 小笠原島産 錦葵科
 ニガキ 尾州竜泉寺山産 黄棟樹科
 シヤシクサウ 紫花品 荳科

五十一種

六一



シヤジクサウ 白花品 荳科
 イハガサ 伊吹山産 薔薇科
 ヤマドウシ 勢州御山産 虎耳草科
 タニタデ 柳葉菜科
 ヤマミツバ 繖形科
 ウリノキ 惠那山産 山茶萇科
 ヘクソカヅラ 細葉品 茜草科
 ハゴロモブキ 菊科
 クリンユキ フデ 櫻草科
 ハイドクサウ 馬鞭草科
 イブキシヤカウサウ 伊吹山産 唇形科
 イラクサ 伊吹山科 蕁麻科
 マルバヤナギ 佛國産 楊柳科
 コクラン 紀州熊野産 蘭科
 オリヅルラン 百合科

キバナノレンリサウ 伊吹山産 荳科
 マルメロ 薔薇科
 ミヅタマサウ 伊吹山産 柳葉菜科
 トクイサウ 西蕃蓮科
 トウキ 繖形科
 ニンドウ 漢種 忍冬科
 ユウガギク 富士山産 菊科
 ニツクワウシヤクナゲ 日光産 石南科
 キクガラクサ 幌菊科
 ナギナタカウシユ 唇形科
 フウトウカヅラ 胡椒科
 ムカゴイラクサ 伊吹山産 蕁麻科
 ナギラン 紀州熊野産 蘭科
 ハマオモト 石蒜科
 シュロサウ 菰野山産 百合科

ハウシバナ 日光産 鴨趾草科
 ナンカクラン 石松科
 イハヤツメ 伊吹山産 羊齒科
 タマシダ 羊齒科
 モウセンゴケ 茅膏菜科
 モウセンゴケ ミヤマミ、カキグサ、イシモチサウ等ハ我國ニ産スル食
 蟲草ニシテ、種々ノ方法ヲ以テ小蟲ヲ捕獲シ、之ヲ消化シテ以テ含窒素
 物ヲ吸收ス。葉面ニ數多ノ腺毛アリテ、毛端粘質ノ液ヲ分泌ス。此葉毛ニ
 アル液体、日光ニ輝キ、恰モ露滴ノ如クナルヲ以テ、歐米ノ方言ニテ、「日露
 草」ト謂フ。若シ小蟲ノ來リテ之ニ觸ル、トキハ、腺毛ノ粘液ニ附着シテ、
 自ラ飛去ル事ヲ得ザラシム。腺毛ハ次第ニ屈折シテ、蟲体ヲ圍繞シ、分泌
 ノ液汁ハ少時ノ後、遂ニ蟲体ヲ分解スト云フ。
 ムシトリギク 菊科
 ムシトリギク ニ種アリ一ハ波斯除蟲菊、二ハ達爾馬西亞除蟲菊トス。
 波斯除蟲菊ハ明治十八年、村井純之助君、歐洲ヨリ種子ヲ携帯セラレ、同



十九年春、東京衛生試験場藥草試植園ニ播殖セシモノ。又達爾馬西亞除蟲菊ハ田中芳男君ヨリ同時頃送附ノ種子ニシテ、宿根草ナリ。今爰ニ陳列スルモノ即チ是ナリ。此花ヲ採收シ、乾燥粉末トナシ、無血蟲類ヲ殺スコトヲ得、然レトモ人体ニトリテハ全ク無害ナリ。近來坊間ニ於テ専ラ賣ルモノハ此品ナリト云フ。久米安政謹誌

テフトリカヅラ白前科

此蔓草ハ元亞非利加ノ産ニシテ、白前科ニ屬ス。鐘狀ノ白花ヲ開ク。本邦ニ舶齋シテヨリ、茲ニ數年、帝國大學植物園ニ植栽シテ能ク蔓延ス。其顯著ナルハ蛾、蝶、小蟲類來リテ其花冠内ニ入レバ感角、手足等ヲ花内ノ或ル器官ニ挿マレ、七顛八倒シテ死ヲ致スニアリ。故ニ此和名アリ。學名チ *Arauja albens*, Don ト云フ。植物學雜誌第五十九號 鈔出 久米安政謹誌

○木材標本

○瞿麥圖譜附瞿麥考設色圖入

此書ハ明治廿三年ノ著ニシテ、小生平生培養ナシタル大和撫子數十種中、稍、良品十五種ヲ撰ミ、友人岡本硯農氏ヲシテ、眞寫セシメ、附録ニ右撫

十重一組百七十七種

寫本一冊

子ニ關スル故事來歴ヲ始メ、東三條院撫子合セテサセ玉ヒタル、コトワケヲモ記載セシモノナリ。久米安政謹誌

山本復一

○舞草說

○椰皮紙

○飯沼愆齋翁書翰

白薇白前ノ分別諸説明白ニ無之様ニ存候何等ノ處ニ據候テ可然ヤ本邦所當ノ諸品大小並草本本御座候由此色黑白黃等種々御座候テ此ニテ白薇ト斷シ候品彼ニテ白前ニ充(候)杯元來其分別ノ的據ヲ不得故ト被存迷惑仕候ニ付願上候

フタバサウ或ハタカノハト稱シ候ハ、スバムシサウ、シモキリサウ、杯ノ物稱ニ御座候ヤ

小レンゲ 僕未見其品何地ノ産何等ノ所屬ニ御座候ヤ

山慈姑類ニトウロウバナト稱シ候品御座候ヤ何等ノ品ナリヤ奉伺候

刺榆ハ近道所産御座候ヤ僕未見貴園ニ御植御座候ハ、一枝之腊葉御
 惠願上候
 白花菜 落花生 ニコチアナ 决明 望江南 破胡帚
 日々花紅白 荆芥 江南大青 小茴香 金盞草 大葉黃蜀葵
 木豆
 先達ヲ御世話被下候品昨冬迄大ニ繁茂仕居候處實未熟候ヲ枯申候其
 實御所持被爲在候ハ、戴度候
 蠻産零陵香 同斷
 花ウツ 京師邊所産之品ヲ得比較仕度奉存候間願上候若又御植置無
 御座候ハ、御採藥之御節御採收被下度候
 右等只今存當最ニ御座候乍御面倒下地之時節モ御示被下候ハ、別而
 難有奉存候
 兩度之華翰辱拜見仕候如論春寒相迫候處愈御德安被成御座奉恭喜候
 願上候種子類御受可被下且宿根之二種御吟味被下候處腐枯仕候候種

六六

山本復一

々御配意被成下候條難有奉存候其内御見當候ハ、宜奉願候オスカム
 プ之圖御手ニ入候故其各種ノ名ヲ直記仕可中段承知仕候幸原書所藏
 罷在候ニ付不遠出來可相納候拙老儀此頃さし當從事之儀御座候ハ、無
 延引可仕其段兼而御宥容奉祈候願首

愆齋

二月二日 亡羊先生貴下

此美濃大垣飯沼愆齋先生書牘也。先生以醫爲業。最精于植物之學。與余祖
 父亡羊翁及考榕室翁。交書牘。往復相與論訂植物者。至數百通之多。文久甲
 子之秋。余家罹兵燹。藏書多蕩盡焉。而灰燼之餘。得先生之書牘者。唯此七通
 而已。皆係植學之事。今茲壬辰首夏。曝書得之。因背裝以藏。

平安 山本復一

右三品

山本章夫

植物腊葉

五種

六七

コマクサ岩手縣産 罌粟科
タニナベワカ伊吹山産 無患樹科
紫花南芥菜 確氷嶺産 十字科
フダキ加州産 荳科

苦茄洋種葉ノ表裏ニ刺アリ 茄科

○花曆七十二候 京都山本章夫著
明治廿四年三月刊行

右二點

松井紋之丞

一枚

○クロマツ松柏科 盆栽

右一品

松木平兵衛

一品

○烏犀角

○一角ウニコール牙

右二品

小林 兎西治郎

一本

○乾腊植物 紀伊國日高郡産

○アンナモニ 鑛 紀伊國日高郡志賀村
大字中志賀産

三塊

○自畫並翠雲書日高郡海邊産植物

右三點

六枚

小林源之助

○鶏卵凝結セル者

此品ハ黒チヤボノ卵ニシテ、外皮ナク、アマ皮ヨリモ猶薄キ皮アリテ、白身ナシ、産ミ落シタルマ、ニテ乾シタルモノナリ。

一個

○蟻之塔又山蟻巢

此品ハ栗樹ノ根ヲ喰ヒ、數年棲息セシ蟻ノ巢ナリ。

五塊

○蟬花家園所生

五個 一箱

此品ハ小蟬ノ地ヲ出ントスル前、之ニ菌類ノ胞子附着シ、爲メニ如斯モノトナリタルナリ。菌ノ生殖部ハ地ヲ穿テ出ヅ。

○勞山石 紀州古屋谷産

右四品

近藤壽太郎

一個

○椰子發芽ノ者

一品

六九

六八

右一品

愛知教育博物會

七〇

- 豹剥製 一品
- 龍鯉剥製 一品
- ムサ、ヒ剥製 一品
- 鯨脊椎骨 二個
- シロワシ剥製 一品
- オホカムリハト剥製 一品
- アササギ剥製 一品
- ウミガメ剥製 一品
- ギンザメ剥製 一品
- 有毒土蜘蛛 一品
- 江州伊吹山産植物盆栽 十九種
- 有^{ツラネチヨライ}毒土蜘蛛 北米カリフナルニヤ産 一品
- 江州伊吹山産植物盆栽 十九種
- キンバイサウ毛茸科 一
- カキノハグサ遠志科 一
- オホバカヘテ無患樹科 一
- ミヤマハタザホ十字科 一
- オホバカヘテ無患樹科 一

- ヒトツバカヘテ無患樹科 一
- トナバニンシ五加科 一
- オホヒヤウタンボク忍冬科 一
- メタカラカウ菊科 一
- キリンノハサウ白前科 一
- ナツトウダイ大戟科 一
- キクバドコロ薯蕷科 一
- キリンシダ羊齒科 一
- 富士山植物腊葉 百四十九種
- 北海道植物腊葉 二百種
- 浪越博物會出品目錄 明治二十年二月出版 一冊
- 明治二十年二月名古屋屋區役所内ニ開設セシ、博物研究會ノ出品目錄ナリ。
- 第三回教育博物會出品目錄 明治二十二年五月出版 一冊
- 明治二十二年五月名古屋屋博物館ニ於テ開設セシ、博物會ノ出品目錄ナリ。

七一

右十五點
雨盛善四郎

○貝原篤信翁改過説
一卷

○上宮太子五十八ヶ條 古版
右二品

朝岡正備

寫本一冊

○梅か香設色圖入

拔文ニ年來培養セシトコロノ梅花數種ノ圖ヲ、尾州家畫師、楠本溪山ニ

托シテ寫生セシメシモノ云々ノ和文ヲ載ス。安政六年末春花魁園ト書

シ、印文ニ久野家藏トアリ。
寫本一冊

○玉むしさうし
蝶の大納言み、すの右京杯より、玉むし姫に贈りたる歌、玉むし姫の答

歌等をのせたる、一種の和文小説なり。

○俳偕百一集
一冊

越中康工撰
明和二年四月刊行

七二

芭蕉翁以下百人ノ詠並ニ畫像ヲ掲ゲ、一詠毎ニ選者ノ評ヲ載ス。

○翠釜亭戲畫錄
版本一冊

古畫俳優ノ圖ニシテ、壬寅春三月、京畿名優圖正較堂珍藏トアリ。

○珍錢奇品圖錄
大村成富著
文化十四年刊行
一冊

古錢ノ分位、名字等ヲ詳カニシ、一々圖ヲ付シタルモノナリ。

○張城尙齒會
天明元年九月出版
一冊

天明年間、都筑道喜以下九老尙齒會ノ記ニシテ、九老肖像、並ニ詩歌等ヲ

載ス。
一卷

○曉臺判四季歌仙卷
一卷

明和四丁亥秋九月、杜陵舍菊兔ノ序アリ、井上士郎等ノ附合ニ、暮雨庵曉

臺ノ點ヲ施セシモノナリ。

右七品

澤田繁次郎

一個

○神代杉製蝦蟇

右一品

七三

阪崎親成

七四

- 五位鷺割製 一品
- カイツムリ割製 一品
- チコザメ割製 一品
- ヒラメ割製 一品
- 鯛割製 一品
- ミシマチコセ割製 一品
- チンブツ割製 一品
- 海産動物標本 三箱
- 昆虫類 十一箱
- 植物折枝 七種
- トウハゼ コブシ クマノミヅキ ホト、ギス
- カナシデ マルメロ トウチクラン
- ハリブキ盆栽 一品
- 鑛物類標本 三十種

- 一石膏 歐洲産
- 一雄黄 石狩國札幌郡定山溪産
- 一石黄ト云フ、即チ黄硫化砒ナリ。
- 一閃鐵鑛 美作國大庭郡上徳本村 義補不二山産
- 一赤鐵鑛ノ一種ニシテ、優美ナル結晶ヲナス。
- 一炭酸鐵鑛獨乙産
- 一名、菱鐵鑛ト云フ。色ハ淡褐ニシテ、黄銅鑛ヲ混ズ。
- 一赤銅鑛獨乙産
- 性分ハ酸化銅ニシテ、紅色稍透明ナリ。
- 一黒銅鑛獨乙産
- 即チ黒色酸化銅ニシテ、硫化銅ヨリ變生シテ成ル所ナリ。
- 一紫銅鑛獨乙産
- 即チ閃銅鑛ニシテ、紫色班彩アリ。
- 一白鉛鑛獨乙産

七五

性分ハ炭酸鉛ニシテ、小品ヲナス。

一 綠鉛鑛 獨乙産

即チ班彩鉛鑛ニシテ、綠色ニ少シク褐色ヲ帯ビタル小品ナリ。

一 黃鉛鑛 獨乙産

即チクロム酸鉛鑛ニシテ、多數ノ小品集合セリ。

一 砒鉛鑛 獨乙産

性分ハ砒酸鉛ニシテ、細柱狀ノ晶体群集セリ。

一 亞鉛華 越中國上新川郡
龜ヶ谷村産

銅鑛脈中ニ在リ、性分ハ炭酸亞鉛及水ナリ。

一 自然砒 獨乙産

天然ニ産スル砒ハ稀ナリ、故ニ砒ハ鷄冠石及ビ毒砂ヨリ之レヲ得。此鑛

ハ即チ天然ノ砒トス。

一 異極鑛 獨乙産

銀鑛ノ空隙ニ白色ノ小品ヲ顯ハス。

一 綠電氣石 美濃國惠那郡
高山村産

或ハ翠簾石ト云フ。砂錫黃玉等ト共ニ産ス。

一 紅電氣石 獨乙産

粒灰石中ニ此鑛ノ小品ヲ含有ス。

一 橄欖石 獨乙産

色ハ橄欖綠ニシテ、織緯狀ヲナシ、其端ニ稍小ナル結晶ヲ顯ハス。

一 曹灰長石 獨乙産

斜長石ノ一種ニシテ、普通主合性分ノ外ニ、曹達及ビ石灰ヲ含ム。光線ノ

作用ニヨリ、瑠璃色ヲ呈ス。

一 別須武石 獨乙産

黃色粒狀ノモノ、別須武石褐色織緯狀ノモノ、角肉石一種アントヒーラ

イトナリ。

一 銀星石 獨乙産

性分ハ磷酸、礬土、水及ビ少量ノ弗化礬土ナリ。

一 地留根石 獨乙産

性分ハ酸化ナルコニウムニシテ、褐色ノ完全ナル晶形ヲ呈ス。



一月石獨乙産
 加里長石ノ一種ムーノストロント云フ。此鑛ハ寶玉ノ一ナリ。琢磨シテ
 裝飾ニ供ス。
 一魚鱗石獨乙産
 性分ハ炭酸石灰ニシテ、形狀魚卵ニ似タルヲ以テ、此名アリ。
 一釘頭石獨乙産
 方解石ノ一種ニシテ、釘頭狀ノ結晶ヲナス、其名ノ因テ起ル所以ナリ。
 一白雲石佐渡國維太郡相川鑛山産
 即チ苦土石灰ニシテ、色ハ雪花無數ノ小品相集マリ、板狀ヲナス。
 一泡沸石越後國三島郡同瀬村産
 球狀ニシテ、破面光線狀ヲ呈スルモノハ、曹達滾石ニシテ廿四面体ノ小
 品ヲナスモノハ、弱電氣石ナリ。
 一魚眼石獨乙産
 即チアポヒライトニシテ、泡沸石ノ一種ナリ。
 一斜方滾石獨乙産

泡沸石屬ニシテ、斜方晶系ノ結晶ヲナス。
 一海泡石釧路國阿寒郡阿寒湖産
 洋名ミルスチャムト云フ。現時該地ニ産セズ。
 一硫酸重土鑛獨乙産
 他鑛中ニ小品ヲ群成ス。
 一岩鹽歐洲塊國産
 一岩鹽方言岩鹽晶
 一岩鹽方言譽粟鹽
 右十三點
 一岩鹽方言赤鹽
 一岩鹽方言スピツアエン
 一岩鹽方言バラボラ
 佐野秋造
 一山本亡羊翁白蒺藜考
 一全蔓生相思子考
 一木炭伊勢國員辨郡阿下喜村字小山産
 一塚田大峯翁書
 一尾張國古圖

○關ヶ原合戦圖

右六品

○鱧魚乾腊錦窠翁
解説

○ハツチヤウトン尾州東春日井郡
矢田村産

○カミナリテフ御嶽産

○マキバシラ

○アウムガヒ

○植物類盆栽

トリモチノキ木蘭科

小カタバミサウ牝牛兒科

ハスイナゴ御嶽産 薔薇科

シクンシ使君子科

イハナンテン石南科

白花ツルリンダウ御嶽産 龍膽科

一枚

菊地有英

一品

一品

一品

一品

一品

十五種

ミヤマオトギリサウ御嶽産 金絲桃科

シロツコカヘ御嶽産 無患樹科

小イハガラミ虎耳草科

オホヒヤウタンボク御嶽産 忍冬科

夏咲リンダウ龍膽科

ハマタイグキ廣島産 大戟科

八〇

サハシハ美濃國惠那郡産 榛科

子ズノキ松柏科

六種

ビヤウヤナギ金絲桃科

セイトウアツシ蓴麻科

イカリサウ伏牛花科
サルスベリ千屈菜科

○植物腊葉放生駒因幡守所集

三千五百種 四箱

○サ、ウチ附錦窠翁
解説

○落葉松按ニエアリコナリ

○木葉石近江國甲賀郡
鮎川村産

○コバルト方言桐ノ木ノ手ト云フ
尾州東春日井郡瀬戸村産

○舊徳川家御薬園ニ掲グル所ノ條令

○貝原益軒先生書

○伊藤東涯先生人參之圖

○小野蘭山先生蘭之圖

右十六點

八一

水谷助六

八二

- 魚譜 水谷豊文翁寫生 一冊
- 勢海魚譜ヲ豊文翁ノ自ラ復寫セラレタルモノニシテ、海魚類八十四種ノ着色寫生圖アリ。
- 蟲譜 水谷豊文翁寫生 小本五冊
- 物品識名 同拾遺 文化年中、水谷豊文翁著 四冊
- 水谷豊文翁、文政年間ノ著書ニシテ、鼈頭ニ書入レアリ。
- 貝つくし浪の華 二冊
- 上ノ卷ハ寫本、豊文翁ノ筆、下ノ卷ハ版本ナリ。
- 荒川鵜飼圖説 寫本一冊
- 山草譜 水谷豊文翁寫生 寫本二冊
- 豊文先生自筆ノ山草ノ圖ニ解説ヲ付シタルモノナリ。
- 齒朶譜 水谷豊文翁輯 寫本一冊
- 羊齒類四十七種ノ名稱ヲ付シ、解釋ヲ附シタル書ナリ。
- 植學略解 ユイマン氏原著 伊藤謙譯 復寫々本一冊

- 植物諸部ノ形狀、性質ヲ解説セシ書ニシテ、初學考證トナスヘシ。
- 花彙 雅南田充房著 木之部草之部 明和二年刊行 八冊
- 柿實寫生圖 十七枚
- 右ノ柿實ハ明治廿二年愛知縣下、市郡ニテ調査シ、大日本農會へ出品セシモノナリ。
- アツフロ寫生圖 一枚
- 明治廿二年十一月東京田中節三郎氏持參ニ付、寫生シ置ケリ。
- スミレ寫生圖 外十二枚
- 水谷儀三郎ノ寫生セシモノナリ。
- リ、オデンドロン樹寫生圖 一枚
- 明治十七年、東京本郷區眞砂町十四番地、伊藤圭介翁邸ニテ開花シ、且實ヲ結ブ。依リテ直ニ寫生シ置ケリ。
- 圓葉オモト盆栽 一品
- 天保年間、名古屋志水町ニ、通稱植木屋會吉、字山樂ト云ヘル八十有餘歳ノ老翁アリケリ。此八本草學ニ熱心シ、余ガ祖父水谷豊文翁ニ隨ヒテ、毎

八三

年必ズ諸國高山ヲ跋渉シ、植物ヲ採集セリ、又加州白山ヘモ俱ニ登リシ
 一 アリト云フ。祖父ノ没後モ、屢々余ガ家ニ來リテ、庭園ノ植物ニ灌溉セ
 リ。此オモト一鉢ハ其遺物ノ一ニシテ、曾吉没後、本年ニ至ル迄、四十餘年
 ナ經ルモ、色尙ホ變ゼズ、今ヤ幸ニ伊藤老先生九十ノ賀筵ニ出品スルヲ
 ナ得タリ。明治廿五年七月十日 水谷助六

○西洋人率馬之寫生圖 文化年間水谷豐文先生筆 一枚

○野間琳庵發句 一枚

○右十六點

○小野蘭山翁一行物 一幅

○飯沼愨齋翁蘭畫幅 一幅

○石黒正敏翁筆地錦圖伊藤錦窠翁畫贊 一幅

○右三品

○歐洲産化石類標本 十種一箱

三島 豪山
 柴田 初治郎

一 Spirifer sp.? 英國産 一品

一 穴ヘリフアイト稱スル腕足類ノ一種ニシテ、地質學上、太古界サイルリア
 ノ系頃ニ現出セル著名ナル動物ノ化石ナリ。

一 Strophomena? 一品

一 ストロホメナト稱スル腕足類ノ一種ニシテ、太古界下部ニ現出セシ動
 物ノ化石ナリ。

一 Gryphea sp.? 一品

一 グリフヤイト稱スル腕足類ニシテ、中古期侏羅系ニ最モ特有ノ化石ナリ。

一 未詳化石 一品

一 太古界中、石炭期ニ現出セル棘皮科枝海膽ノ枝ナレド、形狀不充分ニシ
 テ名稱ヲ附スルニ由ナシ。

一 Cyathophylum sp.? 一品

一 サイヤトフィラムト稱スル珊瑚類水螅ニシテ、地質學上、太古界デボニア
 ノ系ニ現出セル動物ノ化石ナリ。

一 Ammonites sp.? 一品

普通アンモナイトノ螺旋状体ノ旋振弛開シタル者ニシテ、中古界侏羅系ニ最モ隆盛ヲ極メシ動物ノ化石ナリ。

一 Productus sp.?

一品

プロダクタスタト稱スル腕足類ノ一種ニシテ、太古界石炭系ニ現出セル動物ノ化石ナリ。

一 Belemnite?

一品

ベレムナイトト稱スル頭足類ノ内骨ニシテ、中古界特有ノ化石ナリ。

一 Ammonites sp.?

一品

アンモナイトト稱スル頭足類ノ一種ニシテ、地學上、中古界ニ最モ普通ニ存在セシ動物ノ化石ナリ

一 Rhynchonella sp.?

一品

リノコテラノ一種ニシテ、腕足類ニ屬ス。地質學上、太古界サイルリアン系ニ現出セル著明ナル動物ノ化石ナリ。

○太古界中石炭系海膽化石

二個

太古界中石炭系ニ屬スル化石ニシテ、棘皮科海膽ノ一種ナリ。

○獨乙産鑛石類集二百種 五重一箱

○日本産金石標本百六十種 四重一箱

○風右四點 風山本前著 四重一箱

○尾張博物學會百社之創始沿革並諸先哲履歷雜記 一冊

○緒鞭餘錄 甲賀敬元鑒定、豊田養辰編輯 一冊

○草木、金石、蟲魚、禽獸及ヒ異品ノ圖說ノ集録ス。

○慶海魚譜 白野夏雲編纂、木脇啓四郎 一冊

○明治十六年水産博物會開設ノ際、鹿兒島縣勸業課ノ刊行出品セシ書ニシテ、同縣下所産ノ水族通計三百二十五種ノ寫生圖ヲ載ス。

○蟲譜 著者年月未詳 寫本二冊

○救荒本草通解 岩崎常正著 寫本四冊

○文化年間ノ著ナリ。

○草木性譜 舍人重巨撰、男重光校 三冊

○有毒草木圖說 全上 二冊

嘗百社

右七品 平岩三親敏

○夜久貝 一品

○介化石接ニホラガヒ 甲州南巨摩郡産 一品

右二品 平出鎌吉

○嘉里穂久良 寛政九年正月刊 四冊

此書ハ動植藥品等諸物ノ能毒及ビ功用ヲ論シ、誤ヲ正シ、得失ヲ辨シ、偶

戲論ヲ交フ。 一冊

○尾張大洲實生院藏和名類聚抄殘篇 尾張下臣稻葉通邦騰寫 一冊

此書ハ風雨神靈類水土石岩田野ニ分テ、其名目ヲ詳ニス、享和元年暮春刻、

寛政十三年稻葉通邦ノ拔文アリ。 寫本一冊

○尾張方言 尾州山本格安著 寫本一冊

序ニ寛延戊辰歲トアリ、動植物等ノ方言、並ニ解説ヲ載ス。 一冊

○フギユエ氏昆蟲界 The Insect World. By I. Figuiet. 一冊

右四品

此書ハ佛人ル井、フギユエ氏所著ノ昆蟲篇ヲ英譯セシモノナリ。 平出鏗三郎

○黍稷稻梁辨 龜田鴨齋著 文政五年再刻 一冊

古籍ニ徵シテ五穀ノ事ヲ詳ニ論辨シタル書ナリ。 前編八冊 後編六冊

○和名錦背 著者年月未詳 本草諸物ノ名稱ヲ舉ゲ、間、略説ヲ付セリ。 二冊

○ドテツチ氏北米大砂漠之記 千八百六十年刊行 一冊

○料理秘傳抄 貞享元年出版 卷末ニ平野町本屋五兵衛トアリ、蓋シ著者ナルヤ未ダ詳ナラズ。部ヲ十

一ニ分テ、諸種ノ料理法ヲ載ス。 一冊

○小野蘭山翁八十賀詩 一合

○葛町新地吉田屋の蕎麥籠 遊里葛町新地ハ享保十八年九月ヨリ名古屋古渡、山王稻荷邊ヨリ南、間

ノ森迄ニ出來シ遊女町ニシテ、元文元年ニ至テ廢セラレ、當時ノ景況ハ

夢中道草、夢ノ跡、ふたつ盃、城南志等ノ書ニ憑テ、略ホ知り得ベシ、コハ同
 新地吉田屋トイヘル。鯁鮓屋ノ蕎麥籠ナリ、按ズルニ嘉永五年、雀巢庵博
 物會目錄中ニ、葛新地吉田屋鯁鮓櫃赤林トアリ、コレ同品カ、マタ同天保
 九年博物會目錄中ニ、享保年中新地青樓ニ相用ユルス。トよし田や。長春
 館ト有リ當時青樓ノ中ニ吉田屋ト號クルモノナシ、恐ラクハ鯁鮓屋ノ
 誤ニシテ、コレマタ同店ノ器物ニアラザリシカ、猶考フベシ。

○胡鬼板 三枚
 ○ブリム 一個
 ○毬杖玉 一個
 ○右九品 諸戸清三
 ○古鏡 六面
 明治廿四年七月三重縣安濃郡穴倉山麓崩壞ノ節、顯出スルトコロ、十面
 ノ内。

九〇

○萬古燒陶器原土 白土三種、淡赤土、赤土各一種、三重縣朝明郡小向村字名谷、同桑名郡播磨村、同阿部郡丸柱村産 森有節
 ○全精製土 三種
 ○赤繪振出シ壺元祖萬古沼波弄山製造 一個
 右三點 鈴木勲太郎 一秩

○獨國ワグネル氏製禾本科植物腊葉
 H. Wagner. Gras-Herbarium.
 獨乙産禾本科及ビ莎草科ニ屬スル植物ノ腊葉ヲ蒐集セルモノニシテ、
 該植物鑒定ノ際、頗ル參考ノ資料トナスベシ。
 右一品 鈴木重城 二枚

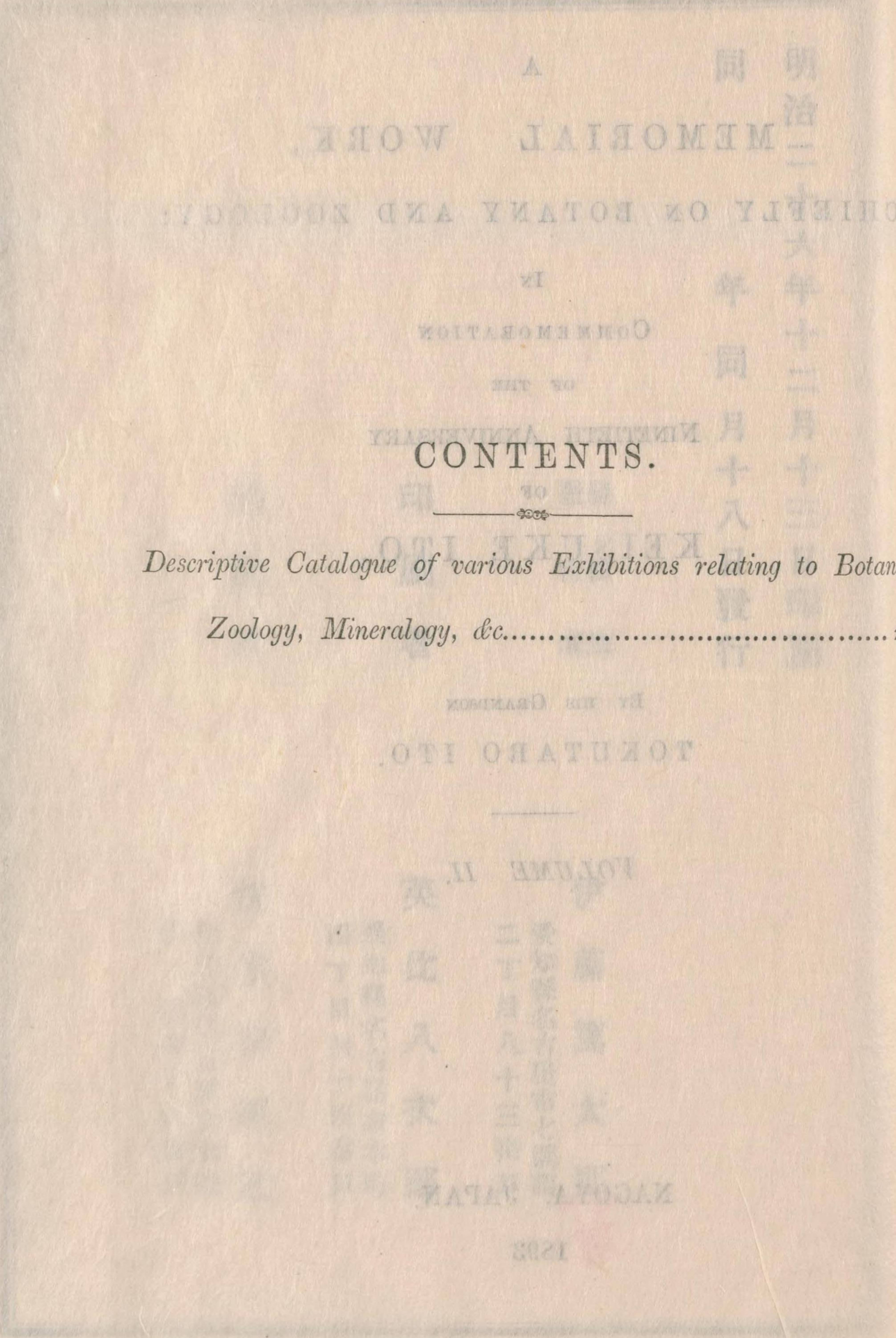
○銀鼠皮 二枚
 此獸皮久傳于僕族鈴木楓園家。稱銀鼠。蓋係貴邦之産。僕未能詳其名實。乞
 垂明教。 三月廿六日 伊藤圭介

九一

此銀鼠也。敝邦之製。六日 右清國副公使張斯桂之荅

錦窠翁九十賀壽博物會誌下卷終

○ 全...
○ 奉...
○ 全...
○ 奉...
○ 全...
○ 奉...
○ 全...
○ 奉...
○ 全...
○ 奉...
○ 全...
○ 奉...
○ 全...
○ 奉...
○ 全...
○ 奉...
○ 全...
○ 奉...
○ 全...
○ 奉...



国立国会図書館 請求記号 特7-338
タイトル『錦[力]翁九十賀壽博物會誌』

ガラス使用



明治二十六年十二月十三日印刷
同年同月十八日發行

編輯者兼 發行所
印刷者
印刷所

伊藤篤太郎
愛知縣名古屋市七間町
二丁目八十三番戸
英比八次郎
愛知縣名古屋市本町
四丁目四十四番戸
扶桑新聞社
愛知縣名古屋市本町
四丁目四十四番戸



A
MEMORIAL WORK,
CHIEFLY ON BOTANY AND ZOOLOGY:

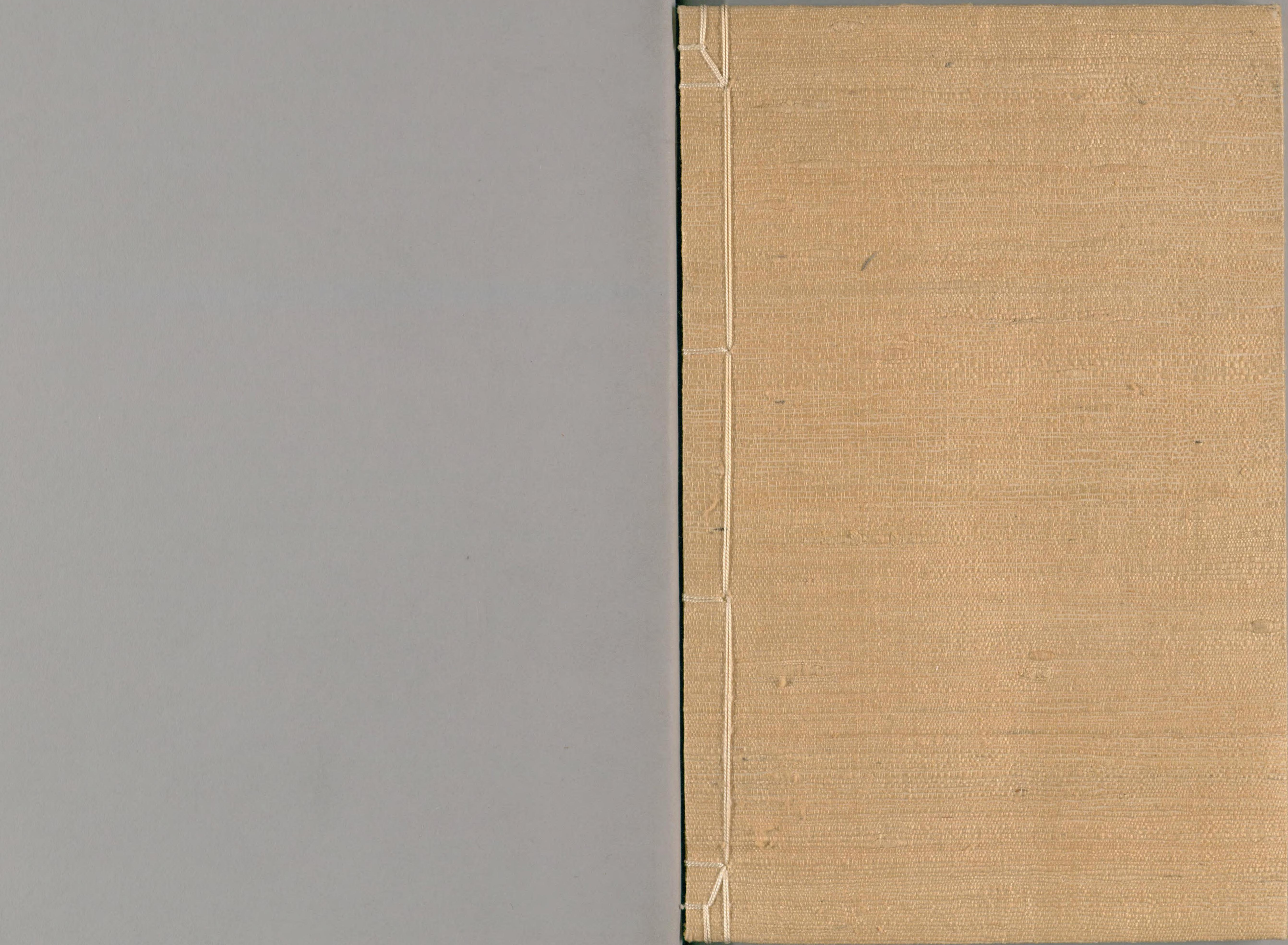
IN
COMMEMORATION
OF THE
NINETIETH ANNIVERSARY
OF
KEISUKE ITO.

BY HIS GRANDSON
TOKUTARO ITO.

VOLUME II.

NAGOYA, JAPAN.

1893



国立国会図書館 請求記号 特7-338
タイトル 『錦[カ]翁九十賀壽博物會誌』

ガラス使用